

平成27年度
御前崎市 公共施設白書
(平成26年分)



平成 28 年 2 月

目次

| | | |
|--------|---------------------------|----|
| 第 1 章 | 公共施設白書について | 1 |
| 第 1 節 | 白書作成の背景 | 1 |
| 第 2 節 | 白書作成の目的 | 1 |
| 第 3 節 | 白書で対象とする施設 | 2 |
| 第 4 節 | 公共施設の用途別分類 | 2 |
| 第 2 章 | 御前崎市の概要について | 3 |
| 第 1 節 | 概要 | 3 |
| 第 2 節 | 人口 | 4 |
| 第 3 節 | 財政（普通会計） | 5 |
| 第 3 章 | 御前崎市の公共施設の現状について | 7 |
| 第 1 節 | 用途別の保有状況 | 7 |
| 第 2 節 | 保有状況の他市との比較 | 8 |
| 第 3 節 | 築年別の整備状況 | 9 |
| 第 4 節 | 築年別の保有状況 | 9 |
| 第 5 節 | 耐震化実施状況 | 10 |
| 第 6 節 | 将来の施設の更新費用 | 10 |
| 第 4 章 | 施設用途別にみた公共施設の現状 （普通会計） | 12 |
| 第 1 節 | 市民文化系施設 | 14 |
| 第 2 節 | 社会教育系施設 | 22 |
| 第 3 節 | 学校教育系施設 | 25 |
| 第 4 節 | スポーツ・レクリエーション系施設 | 32 |
| 第 5 節 | 子育て支援施設 | 37 |
| 第 6 節 | 福祉・保健施設 | 43 |
| 第 7 節 | 行政系施設 | 47 |
| 第 8 節 | 公営住宅 | 55 |
| 第 9 節 | 公園 | 60 |
| 第 10 節 | その他 | 64 |
| | （水道会計） | |
| 第 11 節 | 上水道施設 | 67 |
| | （下水道・農業集落排水会計） | |
| 第 12 節 | 下水道施設 | 70 |
| | （病院会計） | |
| 第 13 節 | 医療施設 | 72 |
| 第 5 章 | 公共施設マネジメントの必要性と今後の取組について | 74 |
| 第 1 節 | 公共施設マネジメントの必要性 | 74 |
| 第 2 節 | 今後の取組について | 75 |

第1章 公共施設白書について

第1節 白書作成の背景

本市では、拡大する行政需要や住民ニーズの高まりにより、電源立地地域対策交付金を活用することで他自治体と比べても多くの公共施設を建設してきました。その結果、本市が所有する公共施設は、市役所などの庁舎、義務教育を提供するための小中学校、図書館や市民会館など多くの市民の方々に利用される文化施設やスポーツ施設、市営住宅など多岐にわたっています。

これまでは、新しい公共施設をどのように整備していくかに重点が置かれ、施設の所管課がそれぞれの施設特性（機能）に合わせて個別に整備していたため、公共施設の全体像を統一的に整理した資料はありませんでした。

今後これらの施設が、更新時期を迎えることから、多額の修繕や建替費用に対する財源の確保が必要となります。また、現下の厳しい財政状況の中、少子高齢化の進行と人口減少に対応していくには、今後は既存公共施設をできる限り有効に活用し、時代とともに変化する市民ニーズに適切に対応する必要があります。

そのため、平成26年9月に本市ではじめてとなる、公共施設の現状を取りまとめた公共施設白書を作成・公表しました。なお、公共施設の現状は年々変わることから、本年も平成27年3月31日現在で公共施設白書（以下「本白書」という。）を更新し、毎年更新していきます。

第2節 白書作成の目的

本白書は、用途別の保有状況、将来必要となる施設の更新費用や個別施設の利用度・維持管理経費などを明らかにし、利用度とコストによる相対的評価等により、市民との間で公共施設をとりまく課題に関する意識を共有し、次世代のまちづくりを見据えた、今後の施設のあり方の検討を行うための基礎資料として活用するものです。

なお、平成27年4月には、公共施設白書により浮かび上がった公共施設を取り巻く課題を解決する方策をとりまとめた、公共施設等総合管理計画（方針編）を取りまとめました。

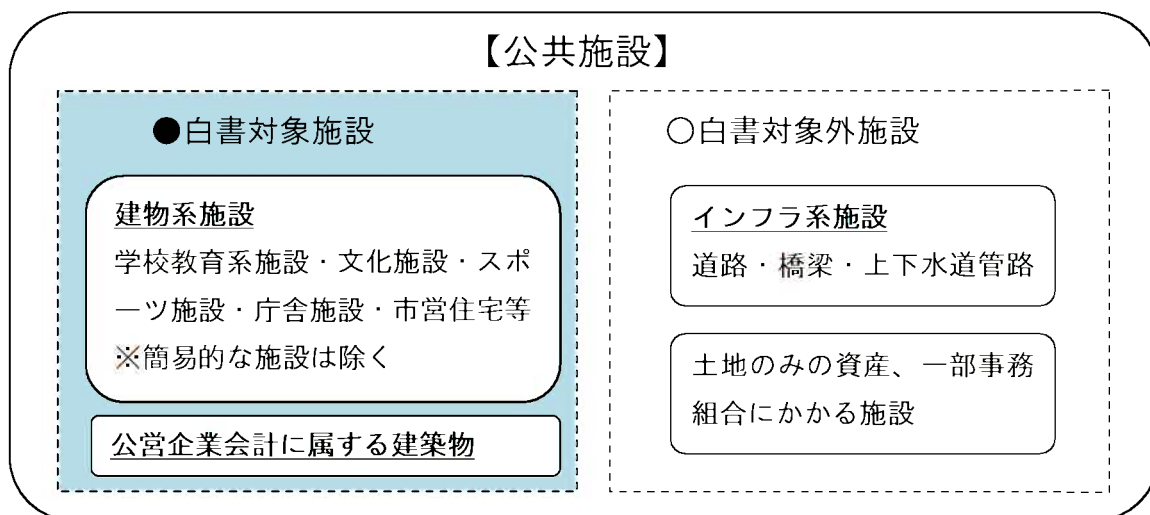
今後も、公共施設を取り巻く社会の変化に的確に対応するためには、公共施設の現状と課題を調査・分析し、社会ニーズに沿った施設のサービスと量を明らかにしながら、その結果を踏まえ方策や取組の見直しを図るとともに、総合的な視点にたち、本市の実情に合った公共施設マネジメントを推進していきます。



第3節 白書で対象とする施設

本市では、小中学校等の学校教育施設や文化施設、市営住宅やスポーツ施設など、広く市民の皆さまに利用されている公共施設を保有しています。

本白書において対象とする施設は、公共建築物の施設を対象とし、道路・橋梁・上下水道施設・管路などのインフラ系施設や土地のみの資産は除きます。また、一部事務組合にかかる施設は除きます。



第4節 公共施設の用途別分類

本白書では、公共施設の全体像を分析する上で、総務省が用いている分類によって各施設を用途別に分類し、その現状を分析しています。

《用途別分類一覧》

| 会計 | 用途別 | 主な施設 |
|---------|------------------|-------------------------|
| 普通 | 市民文化系施設 | 集会施設、文化施設 |
| | 社会教育系施設 | 図書館、博物館 |
| | 学校教育系施設 | 小・中学校、給食センター |
| | スポーツ・レクリエーション系施設 | スポーツ施設、レクリエーション施設、観光施設 |
| | 子育て支援施設 | 保育園、幼稚園、放課後児童クラブ |
| | 福祉・保健施設 | 高齢者福祉施設、保健施設、障がい福祉施設 |
| | 行政系施設 | 庁舎、消防庁舎、消防団詰所、防災倉庫 |
| | 公営住宅 | 市営住宅 |
| | 公園 | 管理棟、トイレ |
| | その他 | その他施設（農水機場、トイレ、CATV など） |
| 水道 | 上水道施設 | 浄水処理場、配水場 |
| 下水道・農集排 | 下水道施設 | 下水処理施設 |
| 病院 | 医療施設 | 市立病院 |

第2章 御前崎市の概要について

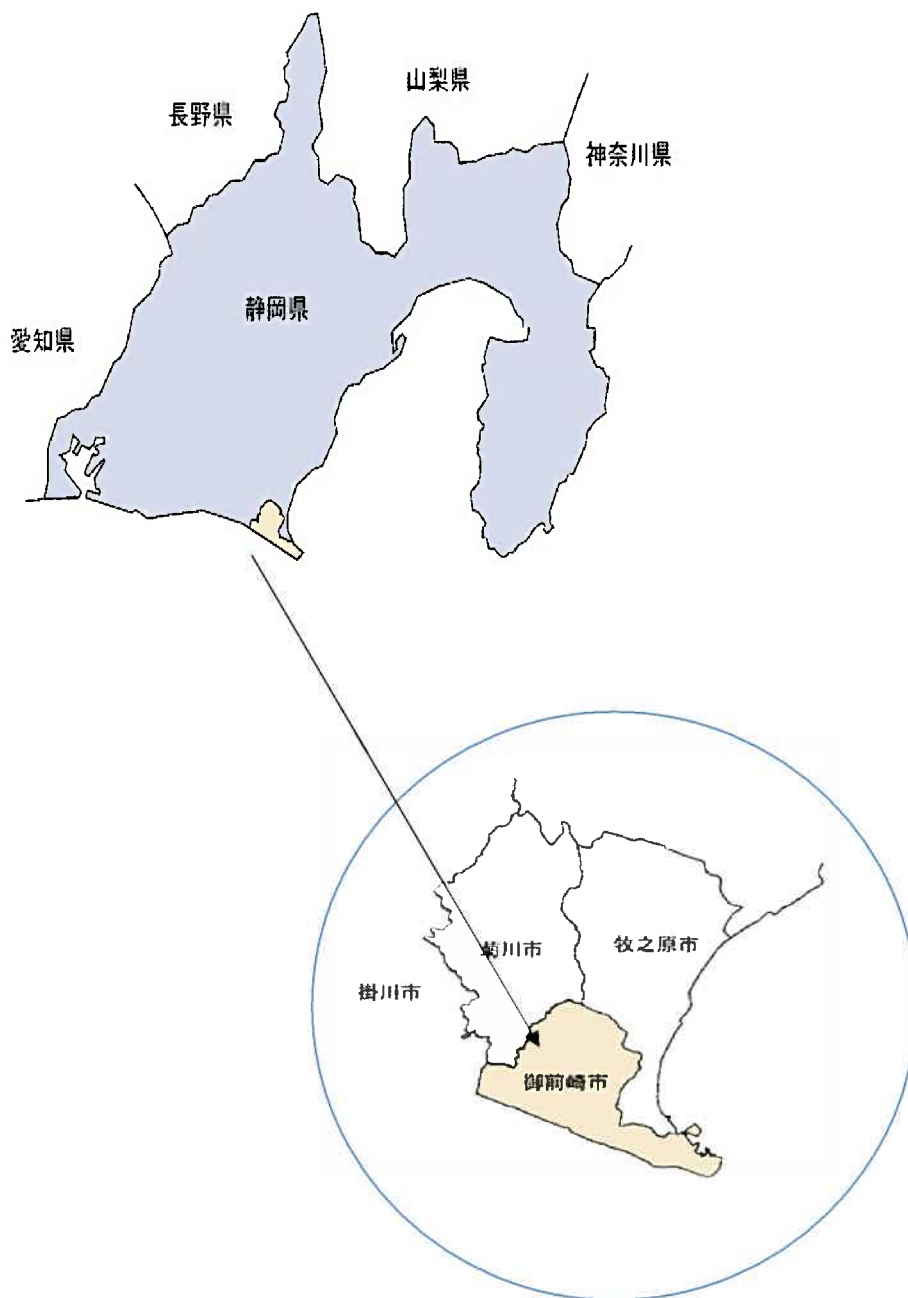
第1節 概要

本市は、北部は牧之原台地から続く丘陵地帯、南部は御前崎灯台の建つ岬や遠州灘海岸の砂丘地帯など豊かな自然環境に恵まれた市です。

一方、御前崎港は5万トン級の大型コンテナ船が接岸できる多目的国際ターミナルをもち東南アジア航路が就航し、近隣市には静岡空港も開港しています。

また、遠州灘沿いには最先端技術を結集した浜岡原子力発電所が立地し、物流・エネルギー基地としての基盤が整っています。

《御前崎市の位置》



第2節 人口

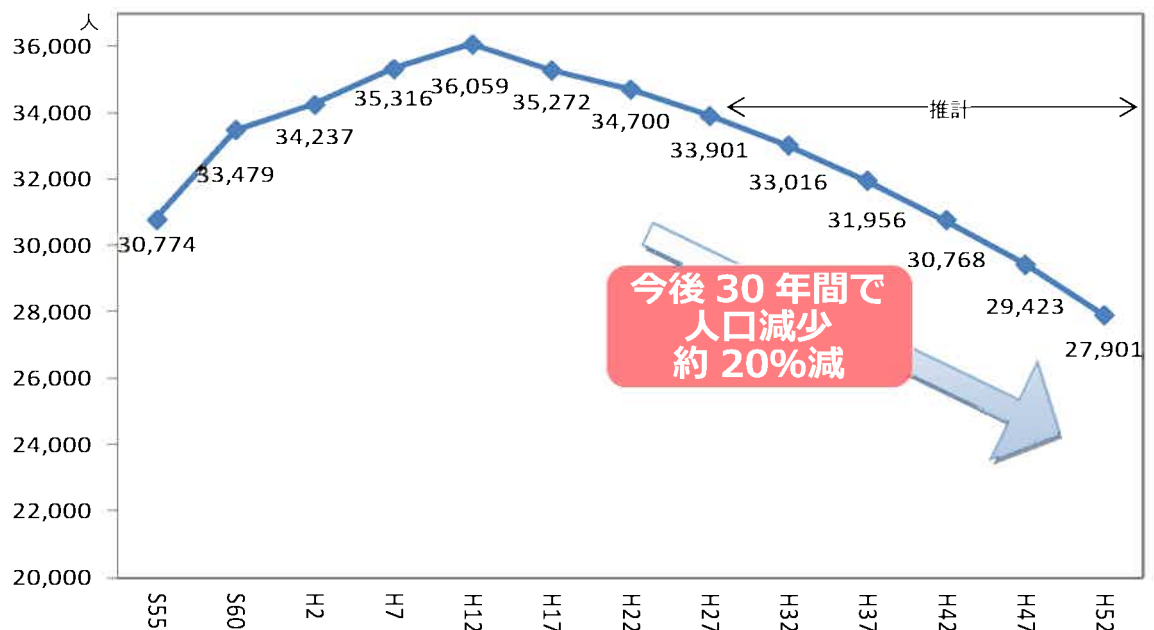
国勢調査*に基づく本市の人口は、昭和55年に30,774人でしたが、平成2年には34,237人と10年間で3,463人増加（11.3%）しました。その後も増加し、平成12年には36,059人と3.6万人を超えましたが、これをピークに減少に転じ、平成22年には34,700人と10年間で1,359人減少（▲3.8%）しており、その後も減少傾向が続いています。

また、年齢区分別の人口構成割合をみると、年少人口（0～14歳）は、昭和55年に人口の22.3%を占めていましたが、平成22年には14.1%に減少しています。老年人口（65歳以上）は、昭和55年に人口の12.1%を占めていましたが、平成22年には22.7%に増加しています。

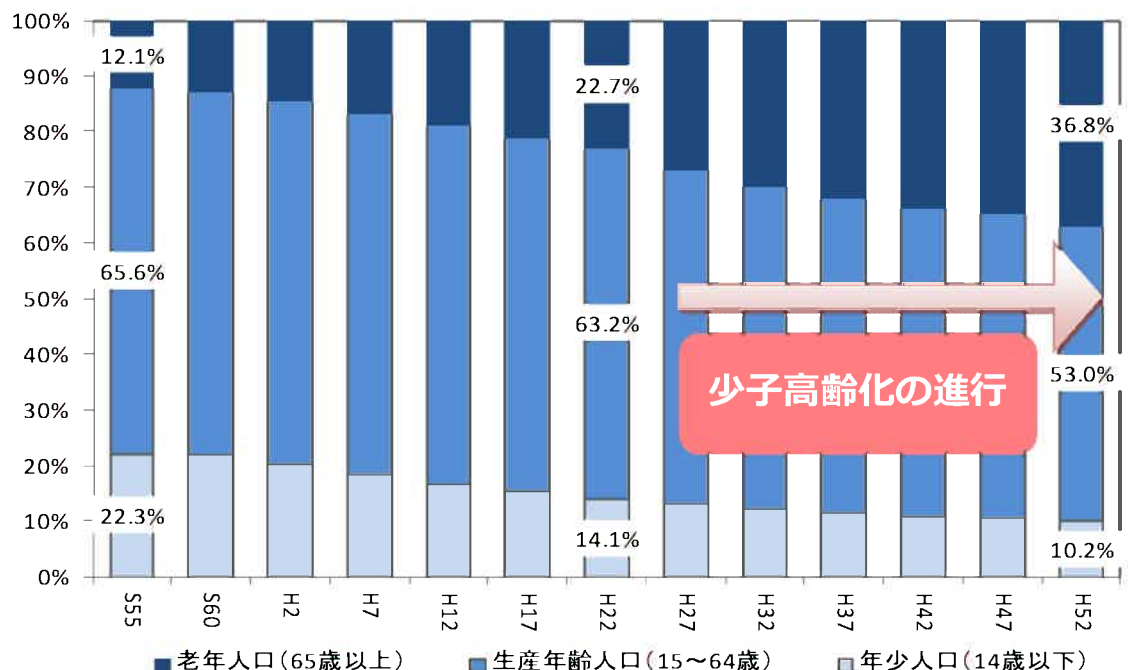
（1）将来人口推計

（社）国立社会保障・人口問題研究所の公表（H23公表・5年に一度公表）する「日本の地域別将来推計人口」（平成25年3月公表）においては、御前崎市の人口は今後も減少し平成52年の人口は27,901人、人口構成割合では年少人口は10.2%、老年人口は36.8%になると推計されています。

《人口の推移》



《年齢構成別割合の推移》



*国勢調査・・・5年に一度の調査 平成22年公表データが最新

第3節 財政（普通会計）

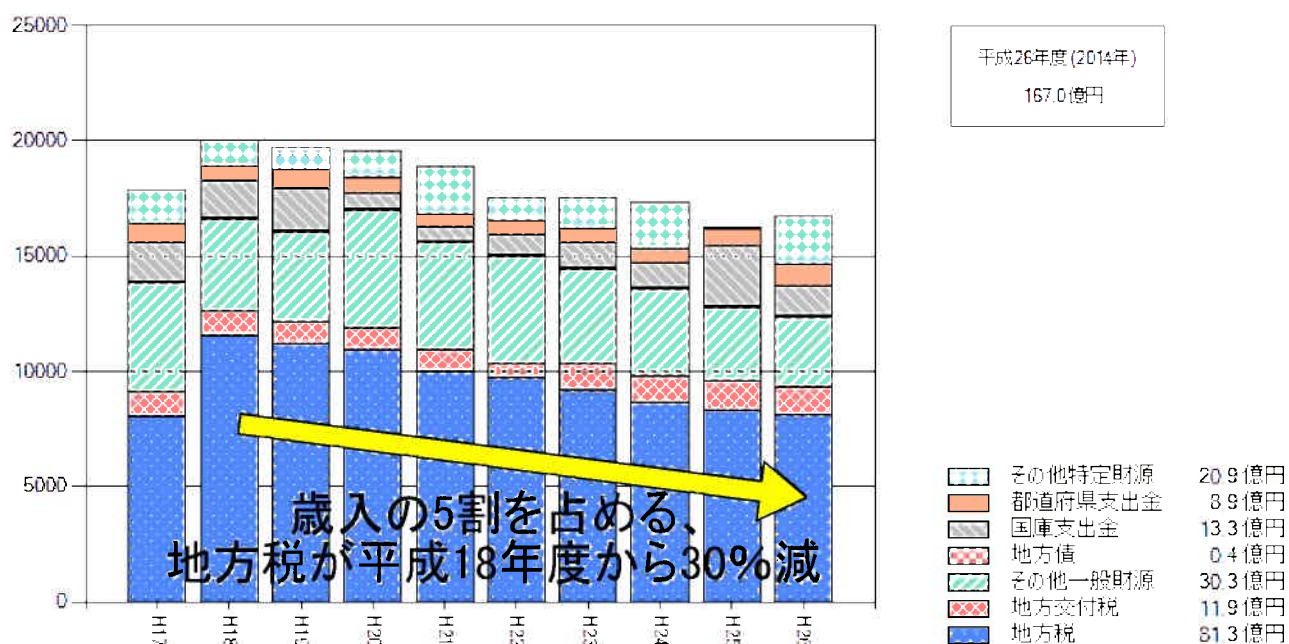
（1）歳入

過去の歳入状況の推移を見ると、平成18年度は約200億円となっていました。その後は減少を続け、平成26年度には約163億円となっています。

歳入決算額の内訳は、一般財源*が123.5億円、特定財源*が40.1億円となっています。このうち、一般財源の内訳は市税が81.3億円（49.8%）、地方交付税が11.9億円（7.3%）、その他一般財源が30.3億円（18.5%）となっており、特定財源の内訳は国庫支出金が26.4億円（16.1%）、地方債が0.4億円（0.2%）、県支出金が9.1億円（5.5%）、その他特定財源が4.2億円（2.5%）となっています。

《歳入決算額の推移》

百万円



資料：決算統計

※一般財源：財源の用途が特定されず、どのような経費にも使用することができる財源をいいます。地方税、地方譲与税、地方交付税、地方特例交付金などが該当します。

※特定財源：財源の用途が特定されている財源をいいます。国庫支出金、県支出金、地方債、分担金、負担金、使用料、手数料、寄付金などが該当します。

(2) 歳出

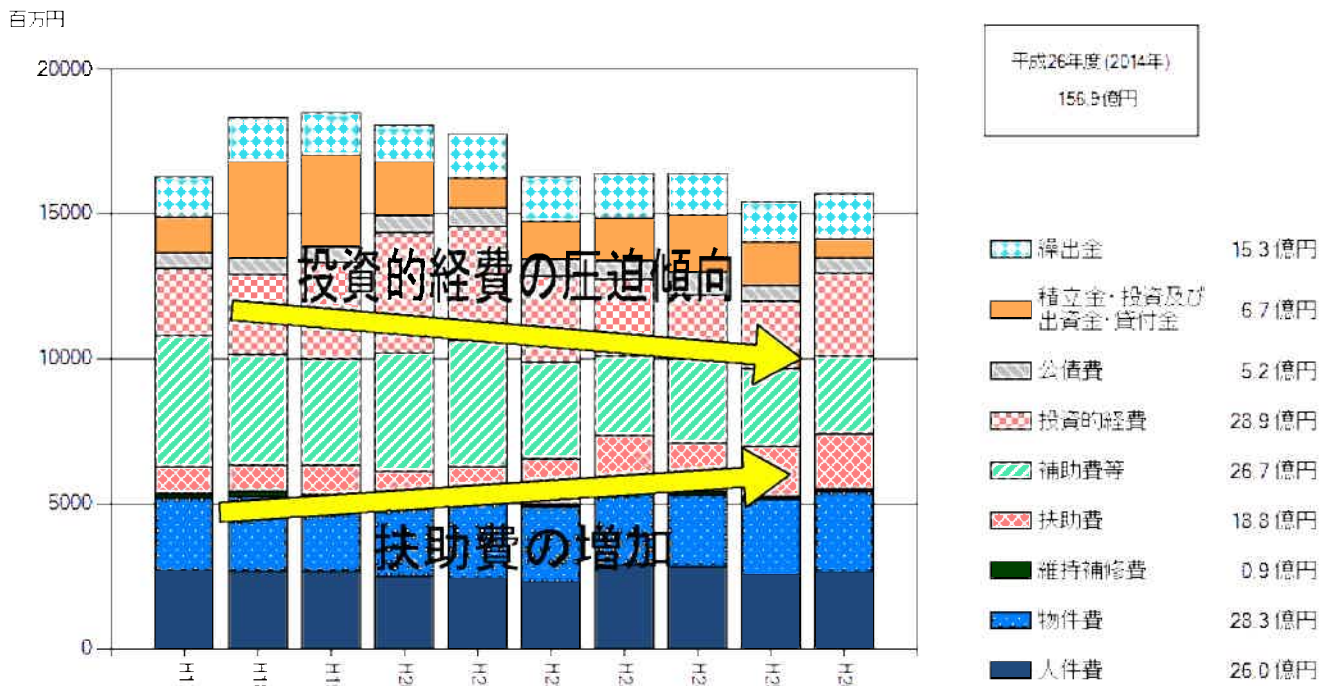
過去の歳出状況の推移を見ると、平成18年度から平成20年度にかけて約180億円程度となっていました。平成21年度には約170億円となり、平成22年度からは約160億円となっております。

平成26年度の歳出を内訳別に見ると、消費的経費*が100億円、積立金・投資及び出資金・貸付金が6.7億円、公債費が5.1億円、投資的経費*が28.9億円となっております。

このうち、消費的経費の内訳は人件費26.0億円、物件費28.3億円、扶助費18.3億円、補助費等26.6億円、維持補修費0.9億円となっております。

経年的にみると、年度によってばらつきはありますが、扶助費（子ども手当や障がい者サービス、生活保護費など）が年々増加傾向にあります。投資的経費は平成20年度以降減少傾向にありましたが、平成26年度はCATV音声告知機器等の更新により増加しております。

《歳出決算額の推移》



資料：決算統計

※消費的経費：人件費、扶助費、物件費、維持補修費、負担金補助及び交付金等で、その経費の支出効果はその年度限り極めて短期間に終わるものをいい、後年度に形を残さない性質の経費です。

※投資的経費：経費支出の効果が施設等のストックとして後年度に及ぶ性質の経費で、普通建設事業費、災害復旧事業費があります。

第3章 御前崎市の公共施設の現状について

第1節 用途別の保有状況

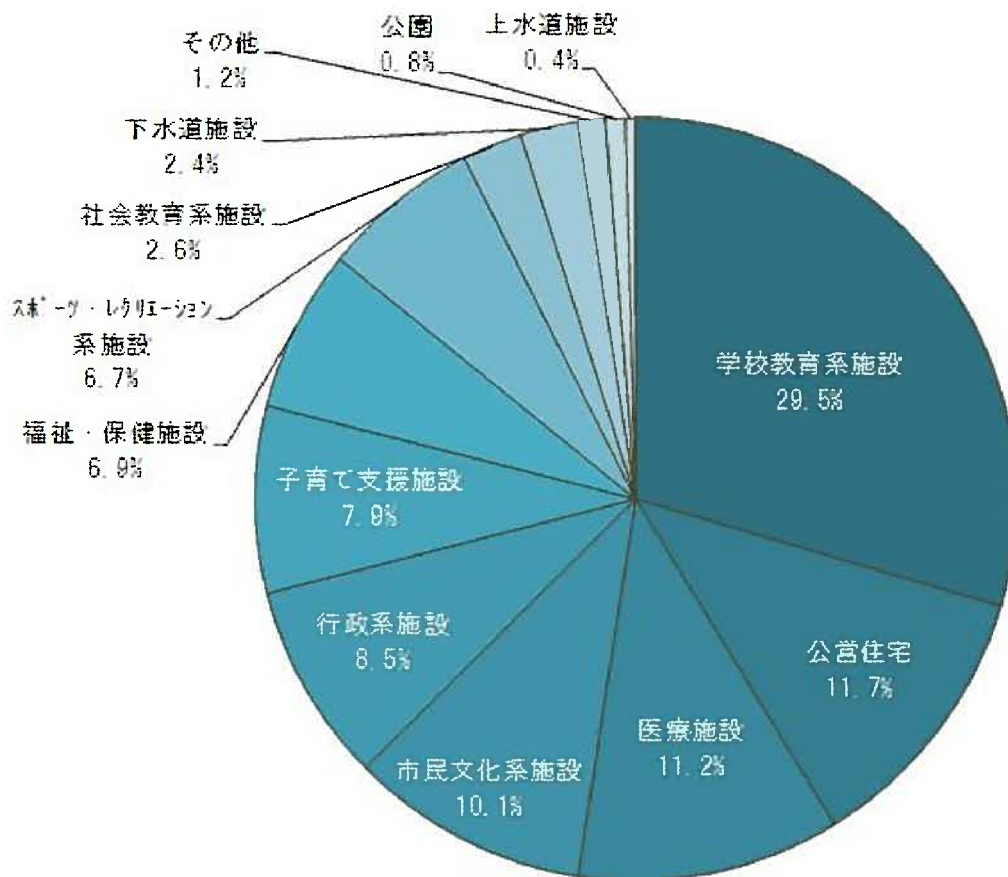
御前崎市の平成27年3月31日現在の公共建築物は163施設あり、総床面積は182,385㎡あります。建物総延床面積が最も大きいのは学校教育系施設が53,889㎡で29.5%を占めています。次いで公営住宅が21,389㎡で11.7%、医療施設が20,351㎡で11.2%を占めています。

《対象施設の分類一覧》

| 会計 | 用途別 | 施設数 | 建物数 | 延床面積 (㎡) |
|-----|------------------|-----|-----|----------|
| 普通 | 市民文化系施設 | 16 | 29 | 18,467 |
| | 社会教育系施設 | 4 | 6 | 4,657 |
| | 学校教育系施設 | 9 | 84 | 53,889* |
| | スポーツ・レクリエーション系施設 | 8 | 30 | 12,287 |
| | 子育て支援施設 | 13 | 40 | 14,478 |
| | 福祉・保健施設 | 8 | 13 | 12,565 |
| | 行政系施設 | 28 | 36 | 15,419 |
| | 公営住宅 | 10 | 33 | 21,389 |
| | 公園※ | 23 | 44 | 1,518 |
| | その他 | 17 | 19 | 2,131 |
| 水道 | 上水道施設 | 6 | 16 | 788 |
| 下水道 | 下水道施設 | 8 | 15 | 4,446 |
| 病院 | 医療施設 | 13 | 18 | 20,351 |
| 合計 | | 163 | 383 | 182,385 |

※御前崎市牧之原市学校組合立御前崎中学校分含む（20棟 7,955㎡）

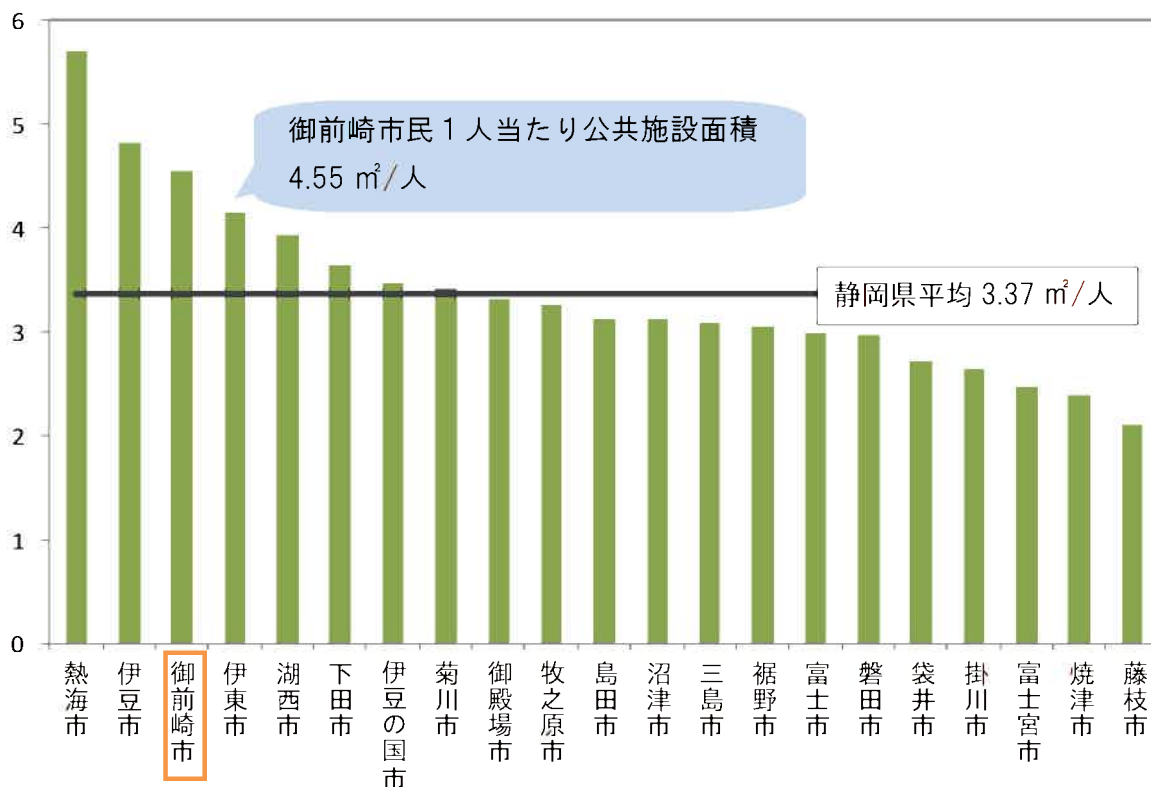
《施設用途別の保有状況》



第2節 保有状況の他市との比較

本書で公表する公共施設の数^{*}は163施設、延床面積の合計は182,385㎡（平成27年3月31日現在）となっています。面積を東京ドーム^{*}の広さに例えると、約3.9個分、浜岡球場^{*}の11.2個分に相当します。なお、市民1人当たりの公共施設面積は4.55㎡/人で、県内で3番目に多い保有状況となっており、県平均3.37㎡/人を上回っています。

《市民1人当たりの延床面積（県内他市比較）》



※東京ドームの建築面積は46,755㎡、浜岡球場の建築面積は16,200㎡

※県内市町データの延床面積は、総務省の「平成26年度市町財政状況」の速報値を基に作成しており、最新データや実際の数値と異なる場合があります。

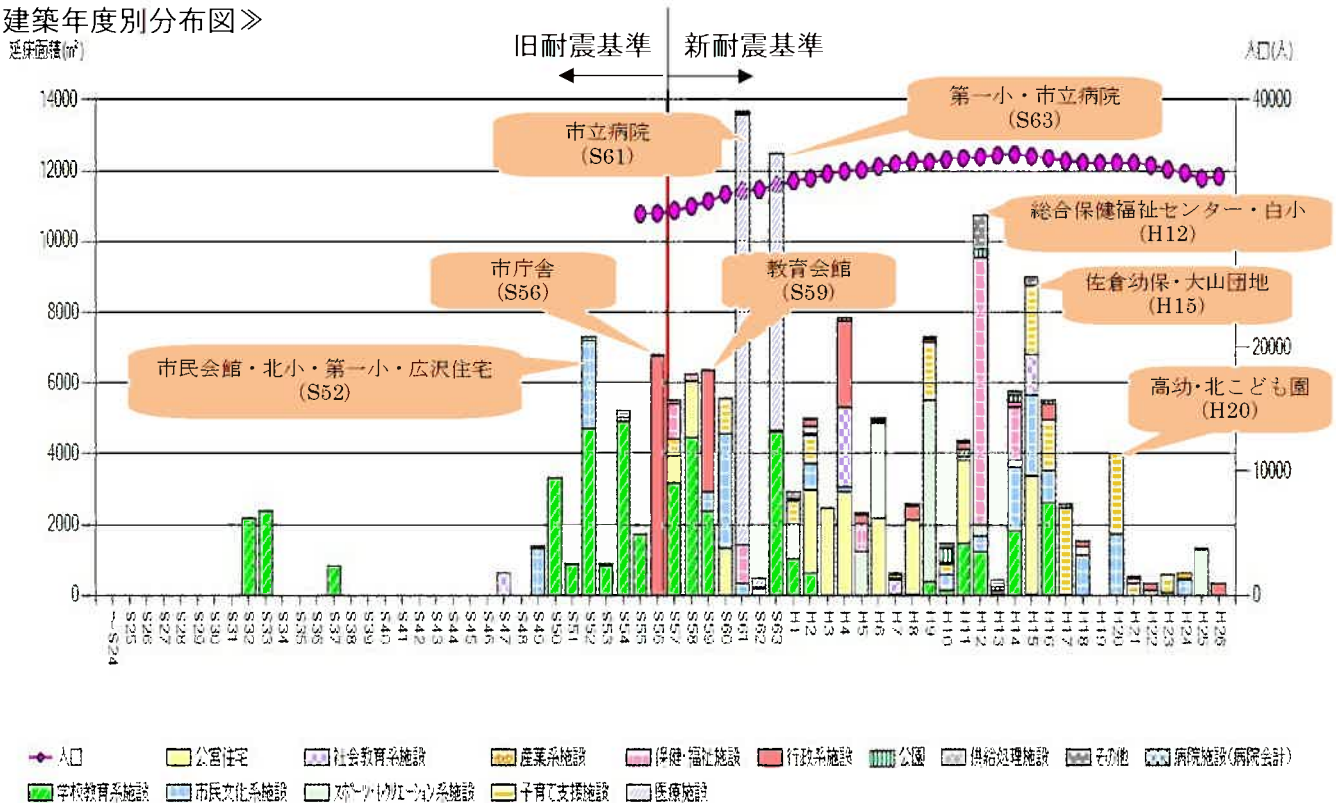
※また一部自治体においては、他市との学校組合等を含んでいる場合があります。

第3節 築年別の整備状況

築年別整備状況をみると、人口の増加と原子力発電所立地に伴う固定資産税や交付金等の増加により、昭和50年代、昭和61年～63年、平成4年～6年、平成9年～12年、平成15～16年に多くの施設が整備されてきました。

特に、小中学校の建替が昭和50年頃から昭和63年頃に集中しています。人口の推移と公共施設の累積延床面積をみると、人口は平成12年をピークに減少傾向が続いていますが、施設はその後も増え続けています。

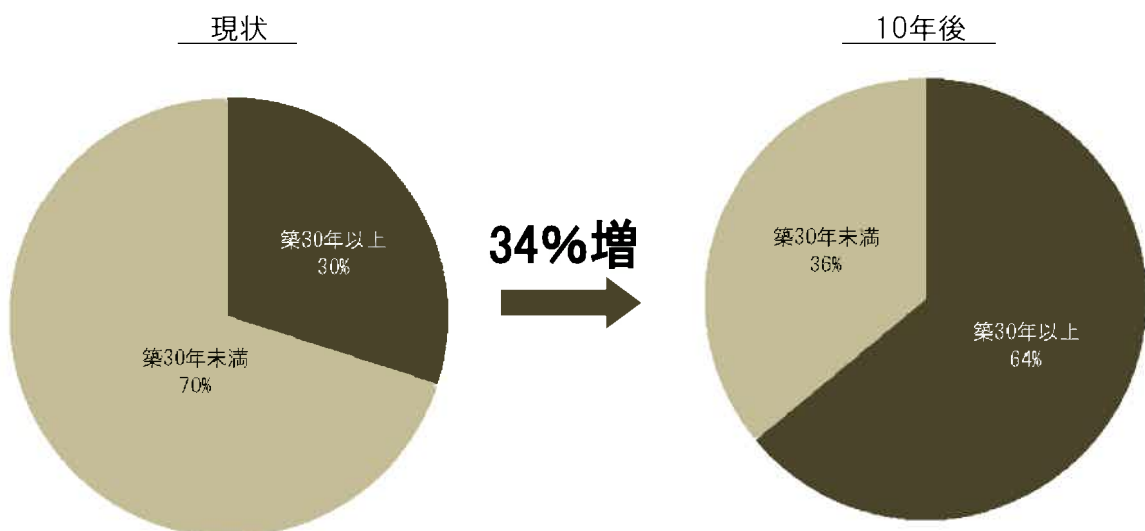
《建築年度別分布図》



第4節 築年別の保有状況

現状築30年以上経過した（1984年以前築）施設は、全体の約30%となっています。現状ある施設をそのまま維持した場合、10年後には全体の約64%が築30年以上となり、老朽化した施設の割合が増えます。

《築年別保有割合（延床面積）》



第5節 耐震化実施状況

公共建築物は、平常時に多数の市民が利用するほか、災害時に庁舎、学校、社会福祉施設等多くが防災拠点として活用されるため、利用者の安全確保、災害時の拠点としての機能確保の観点から、平成23年3月に「御前崎市耐震改修促進計画」を策定し、公共施設の耐震化に取り組んでいます。平成27年度における特定建築物の公共建築物の耐震化率の目標を100%としており、平成26年3月31日現在で耐震化率100%を達成しています。

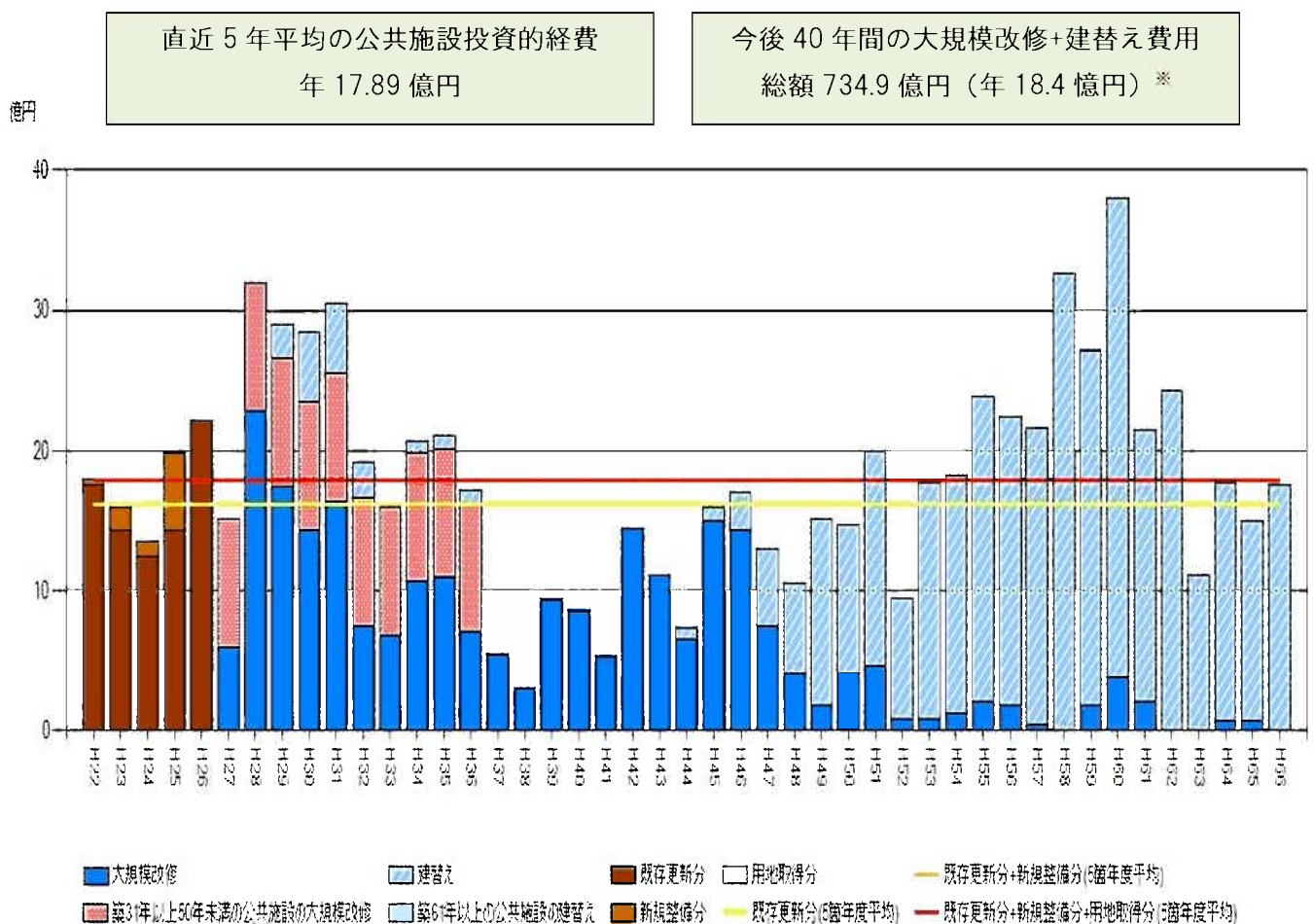
第6節 将来の施設の更新費用

本市が保有する施設の規模を将来にわたって維持する場合、その費用がどの程度になるか推計した結果、平成27年3月31日現在で保有する公共施設に係る今後40年間の更新費用総額は734.9億円となり、年間で18.4億円が必要になると考えられます。

なお、今後10年間に築30年以上の老朽化した公共施設の大規模修繕が控えており、通常の大規模修繕と合わせて平成27年～36年には10年間で約230億円（約23億/年）の費用が発生する見通しとなっています。

また、平成49年以降は耐用年数に達した公共施設の建て替えが必要になり、平成58年～60年頃には建替のピークとなり3年間で約98億円（約33億円/年）の費用が発生すると考えられます。

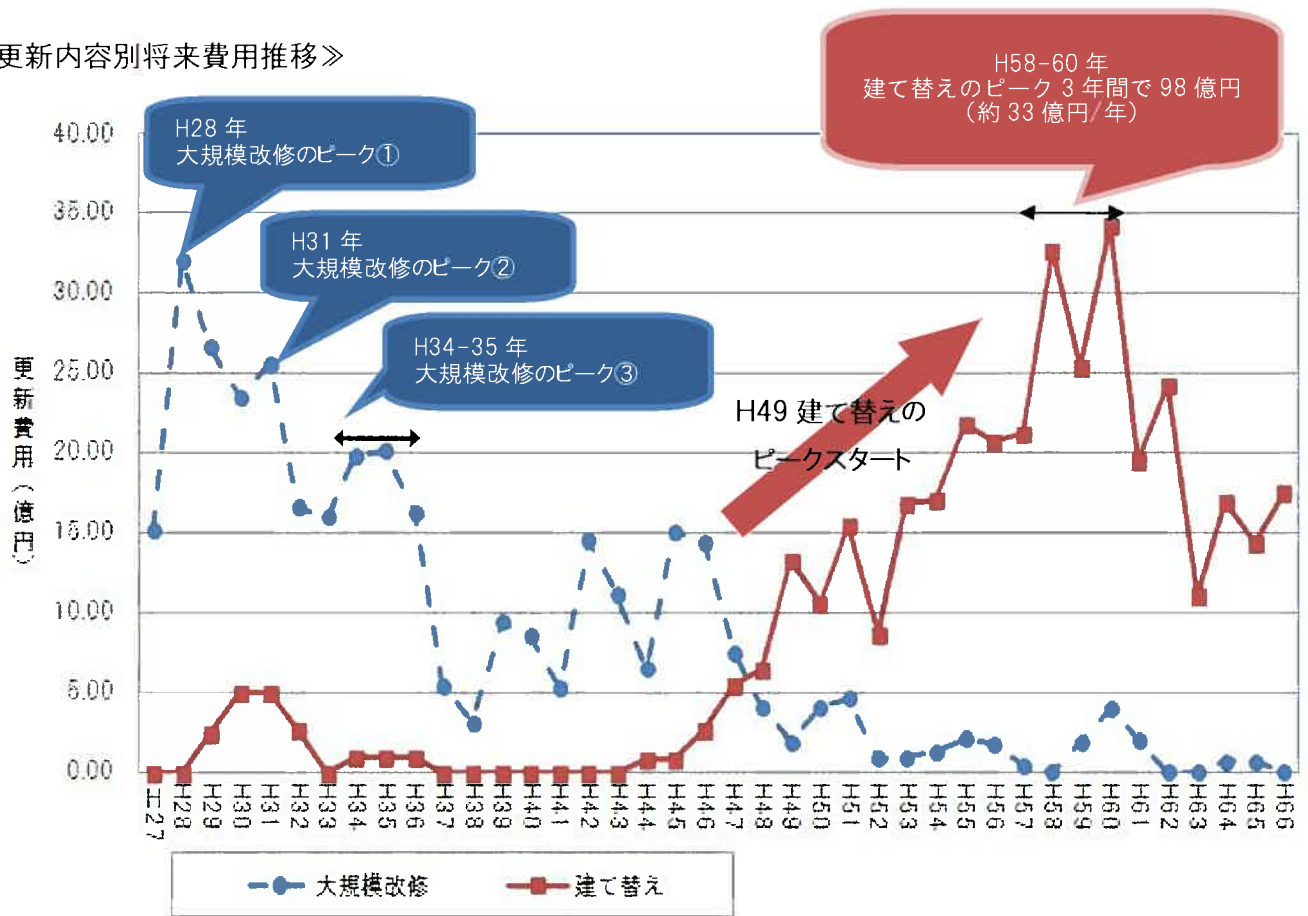
《建替・大規模修繕等に係る将来費用》



※更新費用については、御前崎中学校分除く。

御前崎中学校を含む場合、今後40年間の大規模改修+建替費用 総額 751.9 億円 (年 18.8 億円)

《更新内容別将来費用推移》



《公共施設更新費用試算ソフトの前提条件》

公共施設等の分類ごとに、更新年数（標準的な建築物の耐用年数である60年）経過後に現在と同じ延べ床面積等で更新すると仮定し、延べ床面積等の数量に更新単価を乗じて、今後40年間の施設の更新費用を以下の条件で試算します。

- ・ 建築から30年経過後に大規模改修（設備等）、60年経過後に建替を行います。
- ・ 単年度に負担が集中しないように、大規模改修の修繕期間は2年間とし、建替期間は3年間とします。
- ・ データ基準日（平成27年3月31日現在）で、すでに大規模改修及び建替の時期を迎えている建物は、平成27年度から平成36年度の10年間に割り当てます。
- ・ 更新単価は、既に更新費用の試算に取り組んでいる地方公共団体の調査実績、設定単価を基に用途別に4段階の単価を設定します。なお、大規模改修の単価は、建替の約6割で想定します。

○更新（建替）単価の設定額

| | |
|--------------------|--------|
| 市民文化系、社会教育系、行政系等施設 | 40万円/㎡ |
| スポーツ・レクリエーション系施設 | 36万円/㎡ |
| 学校教育系、供給処理施設 | 33万円/㎡ |
| 公営住宅 | 28万円/㎡ |

○更新（大規模改修）単価の設定額

| | |
|--------------------|--------|
| 市民文化系、社会教育系、行政系等施設 | 25万円/㎡ |
| スポーツ・レクリエーション系施設 | 20万円/㎡ |
| 学校教育系、供給処理施設 | 17万円/㎡ |
| 公営住宅 | 17万円/㎡ |

第4章 施設用途別にみた公共施設の現状

本章では、白書対象施設の現状を整理し、今後の整備の方向性の検討の基礎資料とします。基本構成は下記のとおりとします。

(1) 配置状況

施設用途別の公共施設の配置状況を整理し、配置図で示します。

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

各施設の設置目的や施設機能等に応じ、品質状況、管理運営経費、利用状況の3つの観点を基に現状を整理します。

① 品質状況

一般的に建築物は建築後30年を経過すると劣化が急激に進むとされているため、建築から30年以上経過した施設を施設用途別に整理します。

※建築年が不明の建物は対象外とします。

② 管理運営経費の状況

各施設が年間にどの程度の収入があり、施設の管理運営等に要する経費（施設維持管理に関わる職員の人件費含む）が発生しているかについて整理します。

③ 利用状況

各施設の利用状況を施設用途別に整理します。ただし、庁舎施設、消防施設、園等の利用者の把握が困難な施設は除きます。

(3) 記載内容について

白書対象施設の現状を把握するため、施設の基本情報や建物（棟）情報、収支状況、利用状況に関する「公共施設実態調査」を、施設を所管する担当課を対象に実施し、その調査結果などをもとに整理しました。なお、データが不明または算定等ができない場合は、「－」を記載しています。

① データ基準日

平成27年3月31日を基準日。

② 施設一覧

| 項目 | 内容 |
|------|---|
| 分類 | 施設の使用目的による分類を掲載しています。 |
| 施設名称 | 施設の名称は「御前崎市」や「御前崎」を省いて掲載しています。◎は指定管理施設。 |
| 延床面積 | 施設（建物）の延床面積（小数点以下切捨て）です。複合施設については、当該施設の使用する面積を記入しています。 |
| 建築年 | 建物（棟）の建築年を記入しています。ただし、複数棟で構成されている施設は、主な建物（延べ床面積が一番大きい）の建築年を掲載しています。 |
| 経過年数 | 施設が建築されてからの経過年数は、2013年を基準に算出しています。（建築年月が不明の施設は算出対象外としています。） |

③管理運営経費

管理・運営に係る経費は、平成26年度の決算額（千円未満切捨て）を基本に整理しています。ただし、本来は施設の維持や管理に要する経費を整理すべきですが、今回の調査においては、各施設の維持管理費と事業運営費の仕分けができなかった施設については、維持管理費に事業費を含んだ数字となっています。また、決算額と異なるため目安として考えてください。

管理運営経費の予算科目は、支出は職員人件費^{*}、光熱水費、工事請負費・修繕費（新設費用除く）、使用料及び賃借料（借上料除く）、委託料^{*}（事業委託、施設管理等に係る委託）、備品購入費などで、収入は使用料、利用料金収入、自主事業収入などとなっています。また、複合施設のうち施設の管理運営を一括で行っている場合はその施設に掲載しています。なお、公営企業会計の上水道施設（上水道事業会計）、医療施設（病院事業会計）は、各年度の事業会計決算額となっています。

※職員人件費・・・施設の維持管理に関わる職員数に平均給与額を乗じて算出していますので、実際の支払額（決算額）とは異なります。

※委託料・・・運営主体が「指定管理」の場合、管理運営にかかる全ての経費が含まれているため、他施設との比較になじまない数値となっています。

（4）利用状況等に関するグラフ

各施設の年間の利用者（入所者等含む）を整理し、施設用途に応じてグラフで表示しています。なお、学校や幼稚園など利用者が限られる施設は、園児数、児童数や生徒数で整理しています。また、利用者のない又は集計が困難な施設については、当該項目を除いています。

| 項目 | 内容 |
|-----------------------|--|
| 面積あたりの支出（円/㎡） | 支出（円単位）を延床面積で除して算出しています。 |
| 面積あたり1日平均利用者数（人/㎡） | 年間延べ利用者数を開館日数等で除した「1日平均利用者数」を延床面積（運動場については敷地面積）で除して算出しています。 年間利用人数・・・平成26年度利用延べ人数 |
| 面積あたり園児数・児童数・生徒数（人/㎡） | 園児数・児童数・生徒数を延床面積で除して算出しています。 幼稚園・保育園園児数・・・平成27年3月31日現在 児童・生徒数・・・平成26年4月7日現在 |
| 入居率（%） | 入居戸数を入居可能戸数で除して算出しています。 入居戸数、入居率・・・平成26年度 |
| 利用者1人当たり支出（円/人） | 支出を利用者で除して算出しています。 |
| 市民1人当たり負担額（円/人） | 支出を人口33,835人（平成27年3月31日現在人口）で除して算出しています。 |

※その他施設用途に応じて必要な項目を算出しています。ただし、倉庫・物置のみの施設等は対象外としています。

また公園の支出については、建物に限らない公園全体の維持管理に要した経費を記載しています。

第1節 市民文化系施設

(1) 配置状況

文化施設は2施設、建物数は4棟、延床面積は5,423㎡あります。集会施設は地区の公民館など14施設を保有し、建物数は25棟、延床面積は13,044㎡あります。



○施設一覧

| | 分類 | 施設名称 | 延床面積 (㎡) | 建築年 | 棟数 |
|---|------|--------|----------|------------------|----|
| 1 | 文化施設 | ㊦市民会館 | 2,714 | 昭和52年 (1977年) | 3 |
| 2 | 〃 | ㊦文化会館 | 2,709 | 昭和60年 (1985年) | 1 |
| 3 | 集会施設 | 御前崎公民館 | 857 | 昭和49年 (1974年) | 1 |
| 4 | 〃 | 白羽公民館 | 787 | 平成2年 (1990年) | 1 |
| 5 | 〃 | 佐倉公民館 | 1,464 | 平成20年 (2008年) | 1 |
| 6 | 〃 | 比木公民館 | 1,716 | 平成18年 (2006年) | 6 |
| 7 | 〃 | 池新田公民館 | 1,497 | 平成16年 (2004年) | 2 |
| 8 | 〃 | 高松公民館 | 1,314 | 平成15年 (2003年) | 3 |

| | | | | | |
|----|------|----------------------|-------|------------------|---|
| 9 | 集会施設 | 新野公民館 | 1,508 | 平成14年 (2002年) | 2 |
| 10 | 〃 | 朝比奈公民館 | 1,800 | 平成15年 (2003年) | 3 |
| 11 | 〃 | ㊦下岬コミュニティ 防災センター | 470 | 平成12年 (2000年) | 1 |
| 12 | 〃 | ㊦女岩区コミュニティ 防災センター | 272 | 平成20年 (2008年) | 1 |
| 13 | 〃 | ㊦新谷区コミュニティ 防災センター | 393 | 平成24年 (2012年) | 1 |
| 14 | 〃 | ㊦白浜コミュニティ 防災センター | 447 | 平成10年 (1998年) | 1 |
| 15 | 〃 | ㊦西側やすらぎセンター | 257 | 平成14年 (2002年) | 1 |
| 16 | 〃 | ㊦薄原いきいきセンター | 262 | 平成15年 (2003年) | 1 |

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

文化施設では市民会館の1棟が、集会施設では御前崎、朝比奈公民館の2棟が、建築後30年以上となっています。

○築年数30年以上の建物一覧

| 施設名称 | 建物名称 | 建築年 | 経過年数 | 延床面積 (㎡) |
|--------|--------|------------------|------|----------|
| ㊦市民会館 | 市民会館 | 昭和52年 (1977年) | 37年 | 2,496 |
| 御前崎公民館 | 御前崎公民館 | 昭和49年 (1974年) | 40年 | 857 |
| 朝比奈公民館 | 朝比奈公民館 | 昭和49年 (1974年) | 40年 | 500 |



②管理運営経費

○管理運営経費の状況 ※（）内は前年比

| | 分類 | 施設名称 | 平成 26 年度 | | 年間利用人数 |
|----|------|-----------|-----------------|---------------------|--------------------|
| | | | 収入（千円） （増減） | 支出（千円） （増減） | 開館日数 |
| 1 | 文化施設 | ㊦市民会館 | 2,470 (△751) | 29,768 (△2,652) | 28,661 (+6,592) |
| | | | | | 314 (+32) |
| 2 | " | ㊦文化会館 | 1,775 (+650) | 22,527 (△954) | 20,818 (△2,486) |
| | | | | | 309 (△1) |
| 3 | 集会施設 | 御前崎公民館 | 34 (△569) | 16,971 (+941) | 12,455 (△1,122) |
| | | | | | 244 (+109) |
| 4 | " | ※1 白羽公民館 | 2 | 18,426 | 13,917 |
| | | | | | 244 |
| 5 | " | 佐倉公民館 | 353 (△88) | 18,969 (+768) | 30,914 (△1,463) |
| | | | | | 244 (△113) |
| 6 | " | 比木公民館 | 560 (△40) | 17,651 (△9,999) | 22,178 (△4,221) |
| | | | | | 244 (△112) |
| 7 | " | ※2 池新田公民館 | 64 (△25) | 48,758 (+29,315) | 50,018 (+1,754) |
| | | | | | 244 (△115) |
| 8 | " | 高松公民館 | 460 (+19) | 16,883 (△2,681) | 26,825 (+145) |
| | | | | | 244 (△116) |
| 9 | " | 新野公民館 | 329 (△429) | 19,395 (+880) | 20,985 (+3,757) |
| | | | | | 244 (△109) |
| 10 | " | 朝比奈公民館 | 391 (△117) | 22,472 (+3,481) | 18,696 (△1,379) |
| | | | | | 244 (△109) |

| | | | | | |
|----|------|----------------------|------|--------|--------|
| 11 | 集会施設 | ⑤下岬コミュニティ 防災センター | 0 | 0 | - |
| | | | (±0) | (△343) | - |
| 12 | " | ⑤女岩区コミュニティ 防災センター | 0 | 0 | - |
| | | | (±0) | (△343) | - |
| 13 | " | ⑤新谷区コミュニティ 防災センター | 0 | 0 | - |
| | | | (±0) | (△343) | - |
| 14 | " | ⑤白浜コミュニティ 防災センター | 0 | 0 | - |
| | | | (±0) | (△343) | - |
| 15 | " | ⑤西側やすらぎセンター | 0 | 233 | 3,500 |
| | | | (±0) | (△370) | (△500) |
| | | | | | 180 |
| 16 | " | ⑤薄原いきいきセンター | 0 | 644 | 4,000 |
| | | | (±0) | (△763) | (+478) |
| | | | | | 180 |
| | | | | | (+180) |

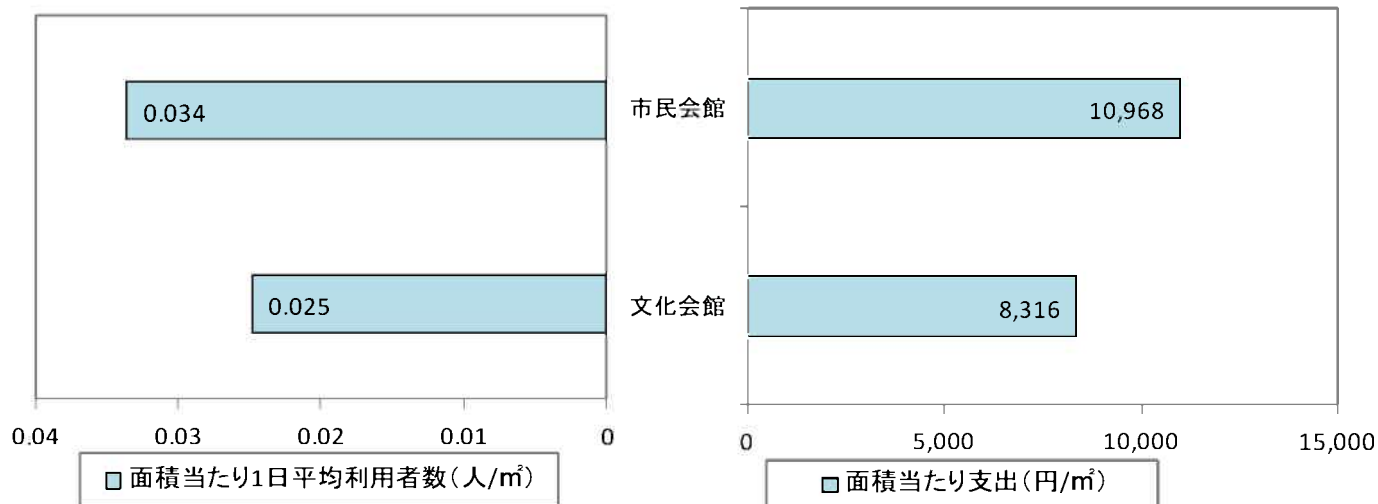
※1白羽公民館は、平成26年3月31日まで文化会館内に設置。平成26年4月1日からは御前崎保健センターへ移転したため、収支・支出の前年比できない。

※2池新田公民館の支出については、市単工事（調理室及び駐車場改修工事）による支出増。

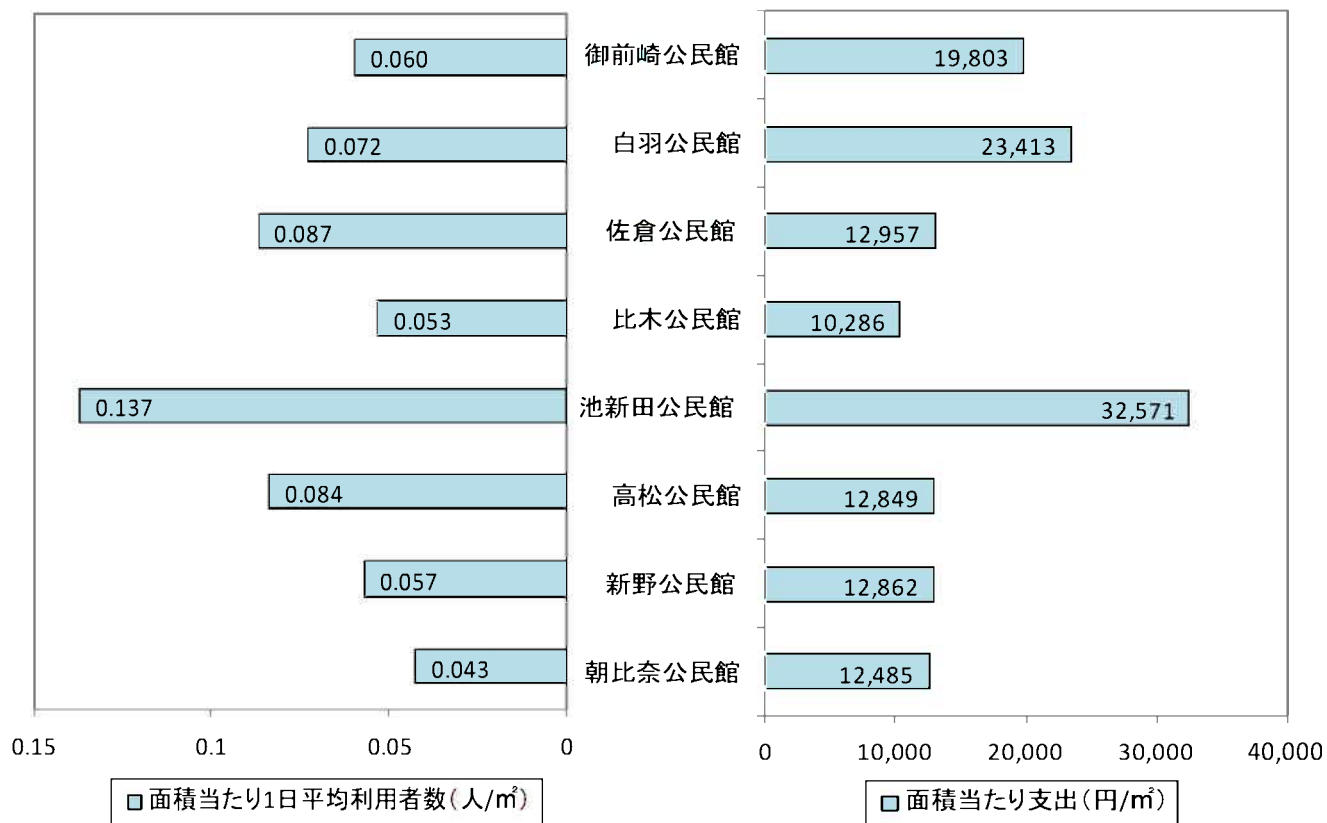


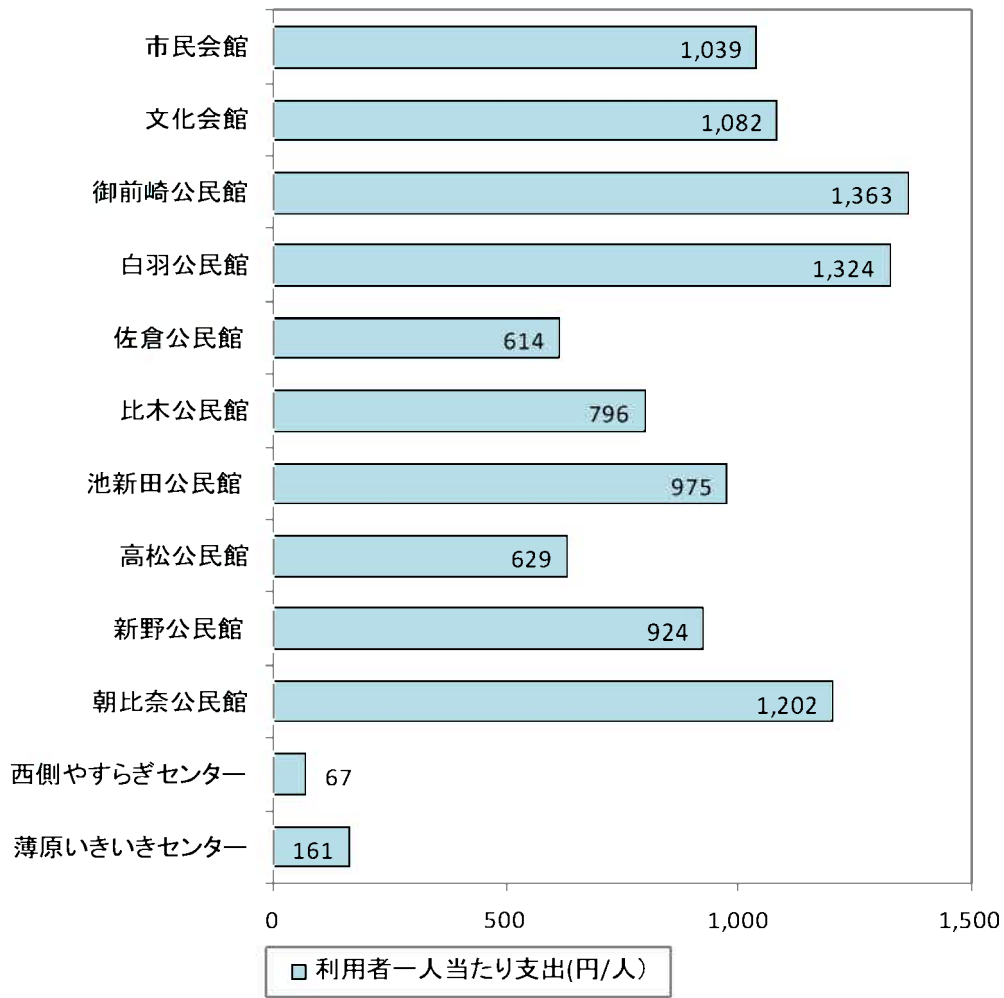
③利用状況等に関するグラフ

《文化施設》



《集会施設》





市民文化系施設の支出に対する
市民一人当たりの負担額は

6,877円です。





市民会館



文化会館



御前崎公民館



白羽公民館



佐倉公民館



比木公民館



池新田公民館



高松公民館



新野公民館



朝比奈公民館



下岬区コミュニティ防災センター



女岩区コミュニティ防災センター



新谷区コミュニティ防災センター



白浜区コミュニティ防災センター



西側やすらぎセンター



薄原いきいきセンター

第2節 社会教育系施設

(1) 配置状況

図書館は1施設、建物数は2棟、延床面積は3,452㎡あります。博物館等は3施設を保有し、建物数は4棟、延床面積は1,205㎡あります。



○施設一覧

| | 分類 | 施設名称 | 延床面積 (㎡) | 建築年 | 棟数 |
|---|------|--------------------|----------|------------------|----|
| 1 | 図書館 | 市立図書館 (アスパル) | 3,452 | 平成4年 (1992年) | 2 |
| 2 | 博物館等 | 清川泰次芸術館 | 400 | 平成7年 (1995年) | 1 |
| 3 | 〃 | 丸尾記念館 | 195 | 平成14年 (2002年) | 2 |
| 4 | 〃 | 文化財整理室 (旧佐倉公民館) | 610 | 昭和47年 (1972年) | 1 |

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質 (建築から30年以上経過した建物 (棟))

社会教育施設では文化財整理室1棟が、建築後30年以上となっています。

○築年数30年以上の建物一覧

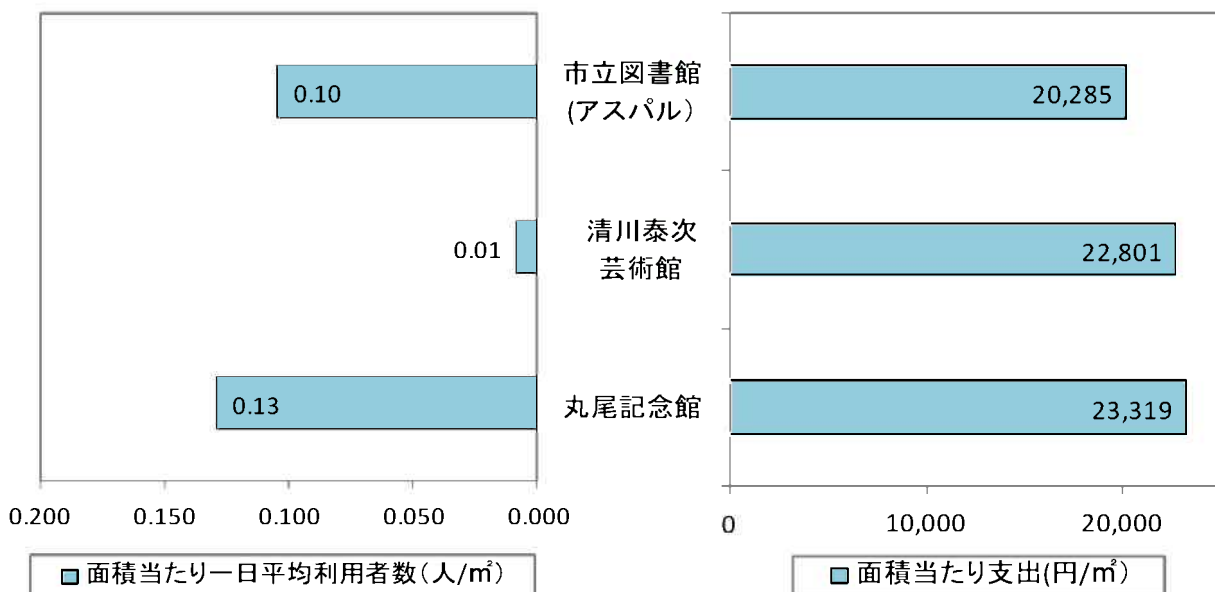
| 施設名称 | 建物名称 | 建築年 | 経過年数 | 延床面積 (㎡) |
|--------|---------|---------------------|------|----------|
| 文化財整理室 | 文化財整理室① | 昭和 47 年 (1972 年) | 42年 | 610 |

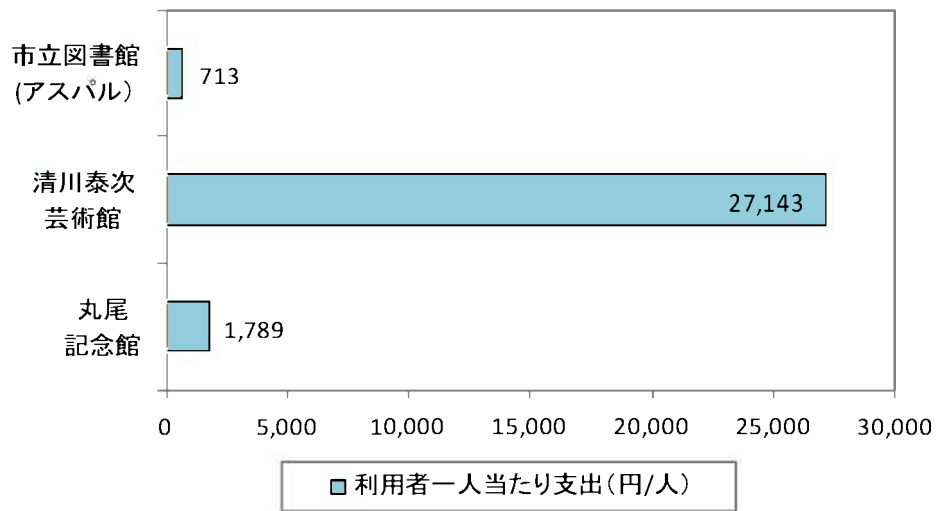
②管理運営経費※ () 内は前年比

| | 分類 | 施設名称 | 年度 | 収入 (千円) (増減) | 支出 (千円) (増減) | 年間利用人数 | |
|---|------|--------------------|--------|-----------------|---------------------|--------------------|-------------|
| | | | | | | 年間利用人数 | 開館日数 |
| 1 | 図書館 | ※1 市立図書館(アスパ ル) | 平成26年度 | 72 (±0) | 70,022 (+12,893) | 98,169 (△5,952) | 272 (△9) |
| 2 | 博物館等 | 清川泰次美術館 | 平成26年度 | 0 (±0) | 9,120 (△592) | 336 (△116) | 103 (+1) |
| 3 | " | 丸尾記念館 | 平成26年度 | 0 (±0) | 4,547 (+158) | 2,542 (+6) | 101 (△9) |
| 4 | " | 文化財整理室 (旧佐倉公民館) | 平成26年度 | 0 (±0) | 4,575 (+1,934) | - | - |

※1市立図書館（アスパル）については市単工事費（屋根防水改修工事等）により支出増

③利用状況等に関するグラフ





社会教育施設の支出に対する
市民一人当たりの負担額は
2,608円です。



市立図書館 (アスパル)



清川泰次芸術館



丸尾記念館



文化財整理室 (旧佐倉公民館)

第3節 学校教育系施設

(1) 配置状況

学校は7施設、建物数は77棟、延床面積は51,499㎡あります。その他教育施設は学校給食センター2施設を保有し、建物数は7棟、延床面積は2,390㎡あります。



○施設一覧

| | 分類 | 施設名称 | 延床面積 (㎡) | 建築年 | 棟数 |
|---|----|--------|----------|------------------|----|
| 1 | 学校 | 御前崎小学校 | 5,548 | 平成16年 (2004年) | 8 |
| 2 | 〃 | 白羽小学校 | 5,785 | 昭和54年 (1979年) | 10 |
| 3 | 〃 | 浜岡東小学校 | 6,319 | 昭和50年 (1975年) | 11 |
| 4 | 〃 | 第一小学校 | 9,116 | 昭和63年 (1988年) | 9 |
| 5 | 〃 | 浜岡北小学校 | 5,015 | 昭和52年 (1977年) | 6 |
| 6 | 〃 | 浜岡中学校 | 11,761 | 昭和33年 (1958年) | 13 |

| | | | | | |
|---|--------------|--------------|-------|------------------|----|
| 7 | 学校 | 御前崎中学校(学校組合) | 7955 | 昭和47年 (1972年) | 20 |
| 8 | その他 教育系施設 | 御前崎学校給食センター | 969 | 昭和57年 (1982年) | 2 |
| 9 | 〃 | 浜岡学校給食センター | 1,421 | 昭和58年 (1983年) | 5 |

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質(建築から30年以上経過した建物(棟))

学校では小学校は27棟、中学校は19棟、その他教育系施設の5棟が、建築後30年以上となっています。

○築年数30年以上の建物一覧

| 施設名称 | 建物名称 | 建築年 | 経過年数 | 延床面積 (㎡) |
|--------|---------------|------------------|------|----------|
| 御前崎小学校 | 管理教室棟 | 昭和55年 (1980年) | 34年 | 1,618 |
| | 体育器具室 | 昭和55年 (1980年) | 34年 | 70 |
| | 機械室(南) | 昭和55年 (1980年) | 34年 | 33 |
| 白羽小学校 | 管理教室棟 | 昭和54年 (1979年) | 35年 | 2,404 |
| | 渡り廊下(西) | 昭和54年 (1979年) | 35年 | 142 |
| | 昇降口 | 昭和54年 (1979年) | 35年 | 160 |
| | 機械室(東) | 昭和54年 (1979年) | 35年 | 12 |
| | 体育器具室 | 昭和54年 (1979年) | 35年 | 50 |
| 浜岡東小学校 | A棟(教室棟)北棟 | 昭和50年 (1975年) | 39年 | 2,244 |
| | B棟(管理棟)南棟 | 昭和50年 (1975年) | 39年 | 991 |
| | D棟(体育器具庫) | 昭和50年 (1975年) | 39年 | 64 |
| | E棟(プロパン庫) | 昭和50年 (1975年) | 39年 | 5 |
| | 体育館 | 昭和51年 (1976年) | 38年 | 857 |
| | プール便所・更衣室・器具庫 | 昭和54年 (1979年) | 35年 | 60 |
| | 校舎増築(北棟) | 昭和58年 (1983年) | 31年 | 1,041 |

| | | | | |
|--------|----------------|---------------------|-----|-------|
| 第一小学校 | 体育器具室（第一グラウンド） | 昭和 51 年 (1976 年) | 38年 | 35 |
| | 体育館・格技場 | 昭和 52 年 (1977 年) | 37年 | 1,120 |
| | プール便所・更衣室・器具庫 | 昭和 54 年 (1979 年) | 35年 | 64 |
| | 校舎（南棟） | 昭和 54 年 (1979 年) | 35年 | 2,029 |
| | 校舎（南校舎） | 昭和 57 年 (1982 年) | 32年 | 1,063 |
| 浜岡北小学校 | 用務員住宅 | 昭和 52 年 (1977 年) | 37年 | 44 |
| | 体育館 | 昭和 53 年 (1978 年) | 36年 | 879 |
| | 南棟 | 昭和 52 年 (1977 年) | 37年 | 1,166 |
| | 北棟 | 昭和 52 年 (1977 年) | 37年 | 2,302 |
| | 体育器具庫 | 昭和 52 年 (1977 年) | 37年 | 90 |
| 浜岡中学校 | 教室棟 | 昭和 32 年 (1957 年) | 57年 | 2,083 |
| | 教室棟（管理教室棟） | 昭和 33 年 (1958 年) | 56年 | 2,379 |
| | 給食受室 | 昭和 32 年 (1957 年) | 57年 | 89 |
| | 体育館（講堂） | 昭和 37 年 (1962 年) | 52年 | 810 |
| | 技術棟 | 昭和 57 年 (1982 年) | 32年 | 790 |
| | 部室棟（北） | 昭和 57 年 (1982 年) | 32年 | 96 |
| | 部室棟（南） | 昭和 57 年 (1982 年) | 32年 | 240 |
| | 特別教室棟 | 昭和 57 年 (1982 年) | 32年 | 2,052 |
| 御前崎中学校 | 管理教室棟 | 昭和 47 年 (1972 年) | 42年 | 2,287 |
| | 教室棟 | 昭和 47 年 (1972 年) | 42年 | 607 |
| | 教室棟 | 昭和 47 年 (1972 年) | 42年 | 231 |

| | | | | |
|-----------------|-------------|---------------------|-----|-------|
| 御前崎中学校 | 教室棟 | 昭和 47 年 (1972 年) | 42年 | 2,454 |
| | 雑庫 | 昭和 49 年 (1974 年) | 40年 | 42 |
| | プール付属棟 | 昭和 51 年 (1976 年) | 38年 | - |
| | 第 2 グランド便所 | 昭和 53 年 (1978 年) | 36年 | - |
| | 第 2 グランド雑庫 | 昭和 53 年 (1978 年) | 36年 | - |
| | 格技場 | 昭和 54 年 (1979 年) | 35年 | - |
| | 第 2 グランド弓道場 | 昭和 55 年 (1980 年) | 34年 | - |
| | 部室 | 昭和 58 年 (1983 年) | 31年 | - |
| 御前崎 学校給食センター | 調理場 | 昭和 57 年 (1982 年) | 32年 | 892 |
| | 機械室 | 昭和 57 年 (1982 年) | 32年 | 77 |
| 浜岡 学校給食センター | 給食センター本棟 | 昭和 58 年 (1983 年) | 31年 | 1,234 |
| | 汚水処理棟 | 昭和 58 年 (1983 年) | 31年 | 67 |
| | 付属棟（機械室） | 昭和 58 年 (1983 年) | 31年 | 66 |

②管理運営経費

○管理運営経費の状況※（）は前年比

| | 分類 | 施設名称 | 平成 26 年度 | | 児童数(人) |
|---|----|-----------|-----------------|---------------------|--------------|
| | | | 収入 (千円) (増減) | 支出 (千円) (増減) | |
| 1 | 学校 | ※1 御前崎小学校 | 1 (△4) | 25,956 (△54,210) | 256 (△8) |
| 2 | 〃 | ※2 白羽小学校 | 34 (△55) | 32,780 (△54,028) | 317 (△22) |
| 3 | 〃 | ※3 浜岡東小学校 | 54 (△94) | 44,724 (+22,732) | 331 (+24) |
| 4 | 〃 | ※4 第一小学校 | 94 (△122) | 58,406 (+28,531) | 685 (△25) |
| 5 | 〃 | ※5 浜岡北小学校 | 51 (△124) | 44,723 (+23,984) | 187 (△1) |

| | | | | | |
|---|--------------|-------------|--------------|---------------------|--------------|
| 6 | 学校 | ※6 浜岡中学校 | 67 (△161) | 38,169 (△21,873) | 654 (△20) |
| 7 | 〃 | 御前崎中学校 | 205 | 56,731 | 427 (-) |
| 8 | その他 教育系施設 | 御前崎学校給食センター | 0 (±0) | 42,234 (△799) | - |
| 9 | 〃 | 浜岡学校給食センター | 0 (±0) | 57,930 (+6,403) | - |

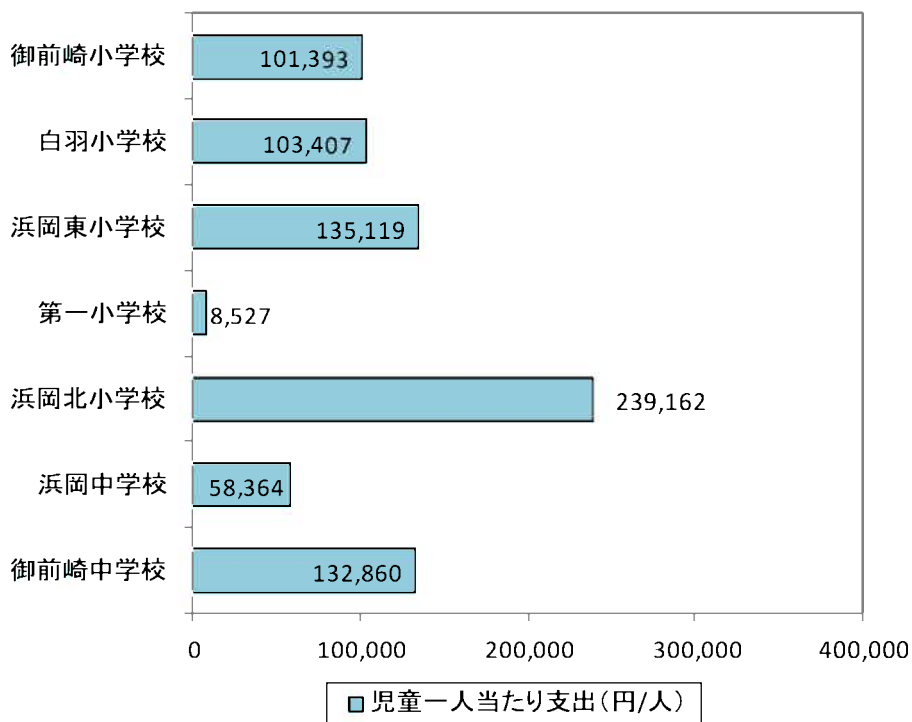
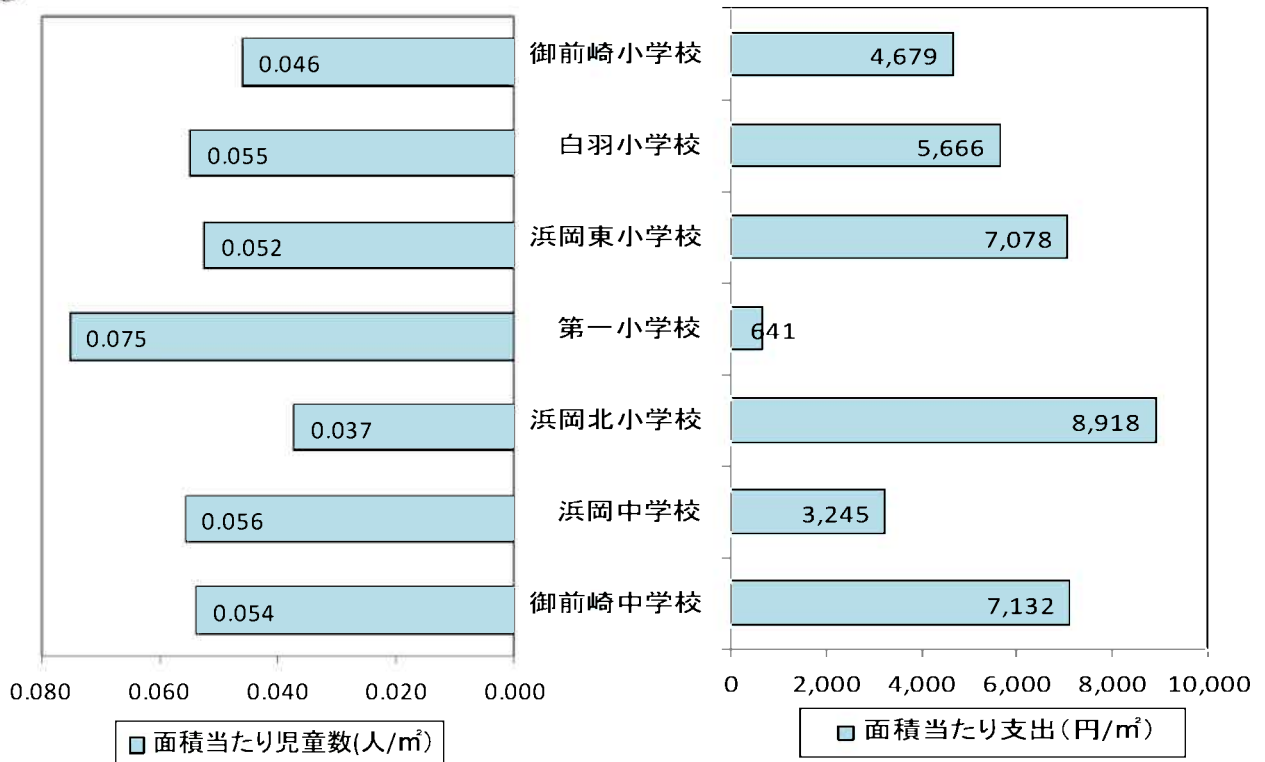
※1,2 H25年度に御前崎・白羽小学校管理棟耐震補強工事費（各58,302千円、66,636千円）実施

※3,5 パソコン教室用の情報機器購入等（備品購入費）による支出増

※4 小規模修繕工事及び備品購入費による支出増

※6 H25年度に屋根改修工事（3,400万円）実施

③利用状況等に関するグラフ



学校教育系施設の支出に対する
市民一人当たりの負担額は

11,900円※です。



※御前崎中学校を含む



御前崎小学校



白羽小学校



浜岡東小学校



第一小学校



浜岡北小学校



浜岡中学校



御前崎中学校



御前崎学校給食センター



浜岡学校給食センター



第4節 スポーツ・レクリエーション系施設

(1) 配置状況

スポーツ施設は、5施設、建物数は16棟、延床面積は9,369㎡あります。レクリエーション・観光施設は3施設を保有し、建物数は14棟、延床面積は2,918㎡あります



○施設一覧

| | 分類 | 施設名称 | 延床面積 (㎡) | 建築年 | 棟数 |
|---|-------------------|--------------|----------|------------------|----|
| 1 | スポーツ施設 | ⑤市民プール ぶるる | 5,102 | 平成9年 (1997年) | 2 |
| 2 | 〃 | ⑤B & G海洋センター | 2,704 | 平成3年 (1991年) | 2 |
| 3 | 〃 | ⑤御前崎運動場 | 152 | 昭和52年 (1977年) | 3 |
| 4 | 〃 | ⑤浜岡総合運動場 | 1,311 | 平成元年 (1989年) | 7 |
| 5 | 〃 | 弓道場 | 100 | 昭和54年 (1979年) | 2 |
| 6 | レクリエーション ・観光施設 | 観光物産会館 なぶら館 | 1,414 | 平成5年 (1993年) | 2 |
| 7 | 〃 | ⑤渚の交番 | 378 | 平成26年 (2014年) | 4 |
| 8 | 〃 | ⑤道の駅 風のマルシェ | 1,126 | 平成26年 (2014年) | 8 |

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

スポーツ施設では、御前崎運動場が1棟、弓道場は1棟が、建築後30年以上となっています。

○築年数30年以上の建物一覧

| 施設名称 | 建物名称 | 建築年 | 経過年数 | 延床面積（㎡） |
|--------|------|------------------|------|---------|
| 御前崎運動場 | 管理棟 | 昭和52年 (1977年) | 37年 | 103 |
| 弓道場 | 弓道場 | 昭和54年 (1979年) | 35年 | 97 |

②管理運営経費※（）は前年比

| | 分類 | 施設名称 | 平成26年度 | | 年間利用人数 |
|---|-------------------|--------------|--------------------|----------------------|---------------------|
| | | | 収入（千円） （増減） | 支出（千円） （増減） | 開館日数 |
| 1 | スポーツ 施設 | Ⓢ市民プール ぶるる | 60,830 (△3,956) | 206,836 (+12,776) | 174,440 (△1,503) |
| | | | | | 306 (±0) |
| 2 | " | ⓈB & G海洋センター | 2,375 (+376) | 17,040 (△289) | 35,280 (+2,612) |
| | | | | | 299 (△6) |
| 3 | " | ※1Ⓢ御前崎運動場 | 1,189 (△1,000) | 69,178 (+56,222) | 41,613 (△3,237) |
| | | | | | 306 (△6) |
| 4 | " | Ⓢ浜岡総合運動場 | 4,419 (△492) | 40,224 (+6,011) | 143,855 (△3,084) |
| | | | | | 343 (+36) |
| 5 | " | 弓道場 | 0 (±0) | 58 (+5) | - (△3,000) |
| | | | | | - (△300) |
| 6 | レクリエーション ・観光施設 | 観光物産会館 なぶら館 | 658 (+291) | 7,163 (△530) | 9,874 (+760) |
| | | | | | 311 (△2) |
| 7 | " | Ⓢ渚の交番※新規 | 1,095 | 9,421 | 12,377 |
| | | | | | 226 |

| | | | | | |
|---|-------------------|------------|---|--------|---------|
| 8 | レクリエーション ・観光施設 | 道の駅 風のマルシェ | 0 | 15,009 | 470,000 |
| | | ※新規 | | | 365 |

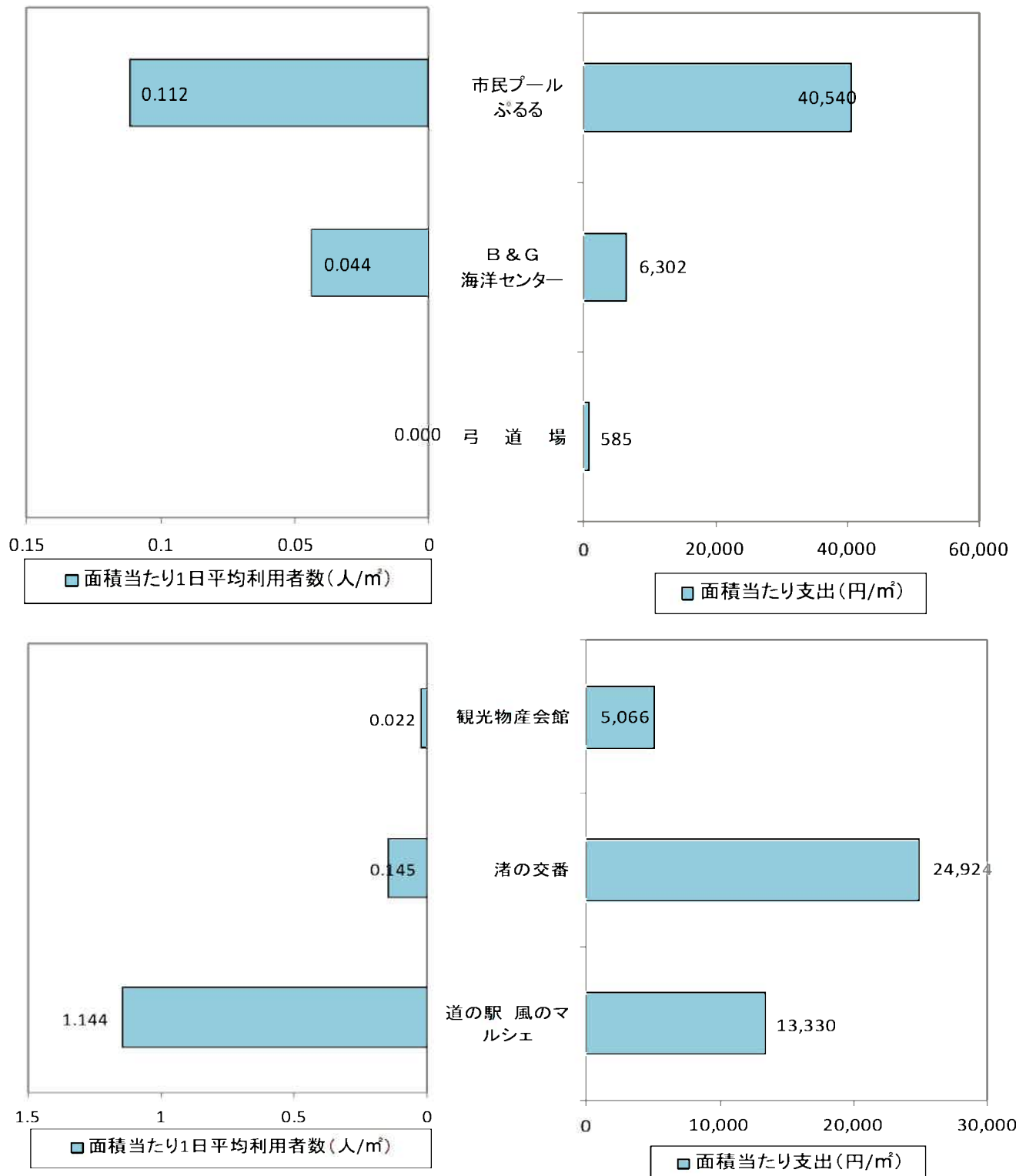
※1御前崎総合運動場についてはグラウンド改修工事等による支出増

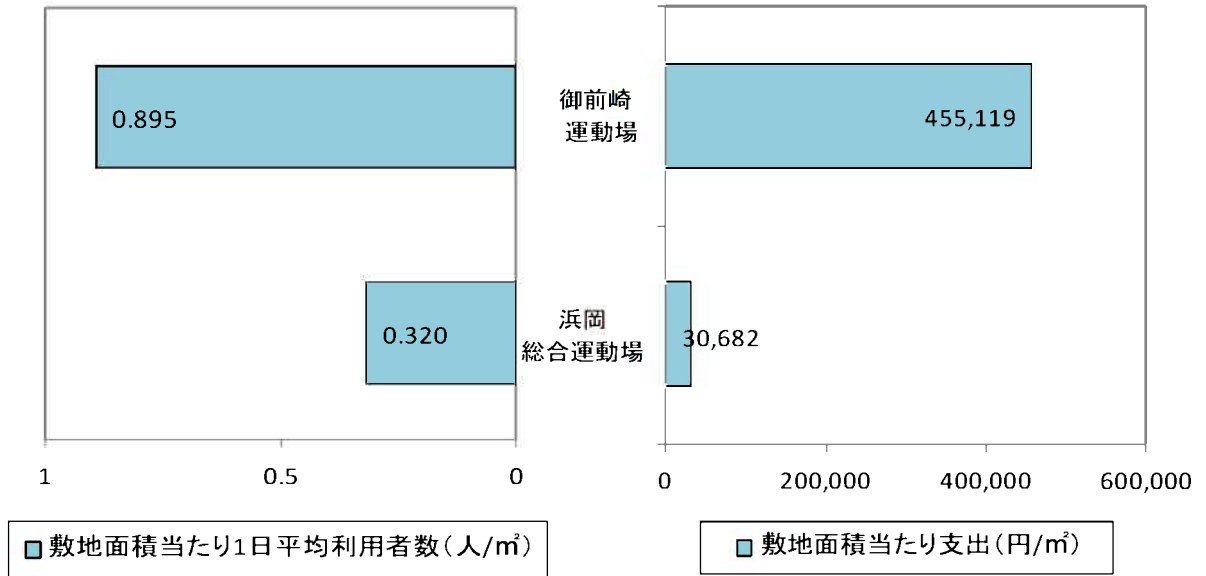
スポーツ・レクリエーション系施設の支出に対する
市民一人当たりの負担額は

10,785円です。

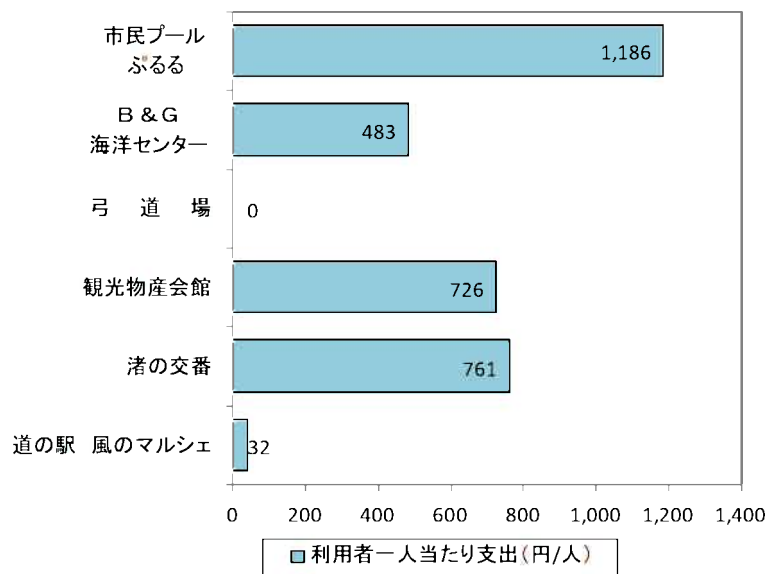


③利用状況等に関するグラフ





※敷地面積：御前崎運動場 56,898m² 浜岡総合運動場 68,678m²





市民プール ぷるる



B & G海洋センター



御前崎運動場



浜岡総合運動場



弓道場



観光物産会館



観光情報館・渚の交番



道の駅 風のマルシェ

第5節 子育て支援施設

(1) 配置状況

幼稚園・保育園・こども園は9施設、建物数は32棟、延床面積は12,969㎡あります。幼児・児童施設は4施設を保有し、建物数は8棟、延床面積は1,509㎡あります。



○施設一覧

| | 分類 | 施設名称 | 延床面積 (㎡) | 建築年 | 棟数 |
|---|-----------------|-----------|----------|------------------|----|
| 1 | 幼稚園・保育園 こども園 | 池新田幼稚園 | 1,961 | 平成9年 (1997年) | 6 |
| 2 | 〃 | 高松幼稚園 | 1,106 | 平成20年 (2008年) | 3 |
| 3 | 〃 | さくらこども園 | 3,540 | 平成15年 (2003年) | 4 |
| 4 | 〃 | 白羽幼稚園 | 1,384 | 平成17年 (2005年) | 4 |
| 5 | 〃 | 御前崎幼稚園 ※1 | 1,066 | 平成17年 (2005年) | 3 |
| 6 | 〃 | 北こども園 | 1,161 | 平成20年 (2008年) | 2 |
| 7 | 〃 | 浜岡保育園 | 1,181 | 昭和60年 (1985年) | 4 |

| | | | | | |
|----|-----------------|-------------|-----|------------------|---|
| 8 | 幼稚園・保育園 こども園 | 御前崎保育園 ※2 | 745 | 平成元年 (1989年) | 2 |
| 9 | 〃 | 白羽保育園 | 825 | 平成2年 (1990年) | 4 |
| 10 | 幼児 ・児童施設 | 新野こどもの里 | 606 | 平成23年 (2011年) | 5 |
| 11 | 〃 | 御小放課後児童クラブ | 219 | 平成18年 (2006年) | 1 |
| 12 | 〃 | 第一小放課後児童クラブ | 189 | 平成24年 (2012年) | 1 |
| 13 | 〃 | 児童館 | 495 | 昭和57年 (1982年) | 1 |

※1,2 H27.4～御前崎こども園へ名称変更

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

幼児・児童施設は3棟が、建築後30年以上となっています。

○築年数30年以上の建物一覧

| 施設名称 | 建物名称 | 建築年 | 経過年数 | 延床面積 (㎡) |
|----------------|------------|------------------|------|----------|
| 新野 こどもの里 | 新野こどもの里 | 昭和53年 (1978年) | 36年 | 20 |
| 御小放課後児童 クラブ | 御小放課後児童クラブ | 昭和58年 (1983年) | 31年 | 219 |
| 児童館 | 児童館 | 昭和57年 (1982年) | 32年 | 495 |

②管理運営経費※（）は前年比

| | 分類 | 施設名 | 平成26年度 | | 児童数 利用人数 |
|---|----------------------|-----------|--------------------|--------------------|--------------|
| | | | 収入(千円) (増減) | 支出(千円) (増減) | |
| 1 | 幼稚園・保 育園・こど も園 | ※1 池新田幼稚園 | 7,193 (△721) | 3,484 (△18,200) | 141 (△10) |
| 2 | 〃 | 高松幼稚園 | 3,951 (△162) | 2,491 (△491) | 61 (△13) |
| 3 | 〃 | さくらこども園 | 26,700 (+2,298) | 11,696 (+1,586) | 196 (△13) |
| 4 | 〃 | 白羽幼稚園 | 4,333 (+442) | 3,252 (+379) | 64 (△9) |
| 5 | 〃 | 御前崎幼稚園 | 2,931 (△253) | 4,582 (△4,007) | 103 (+43) |

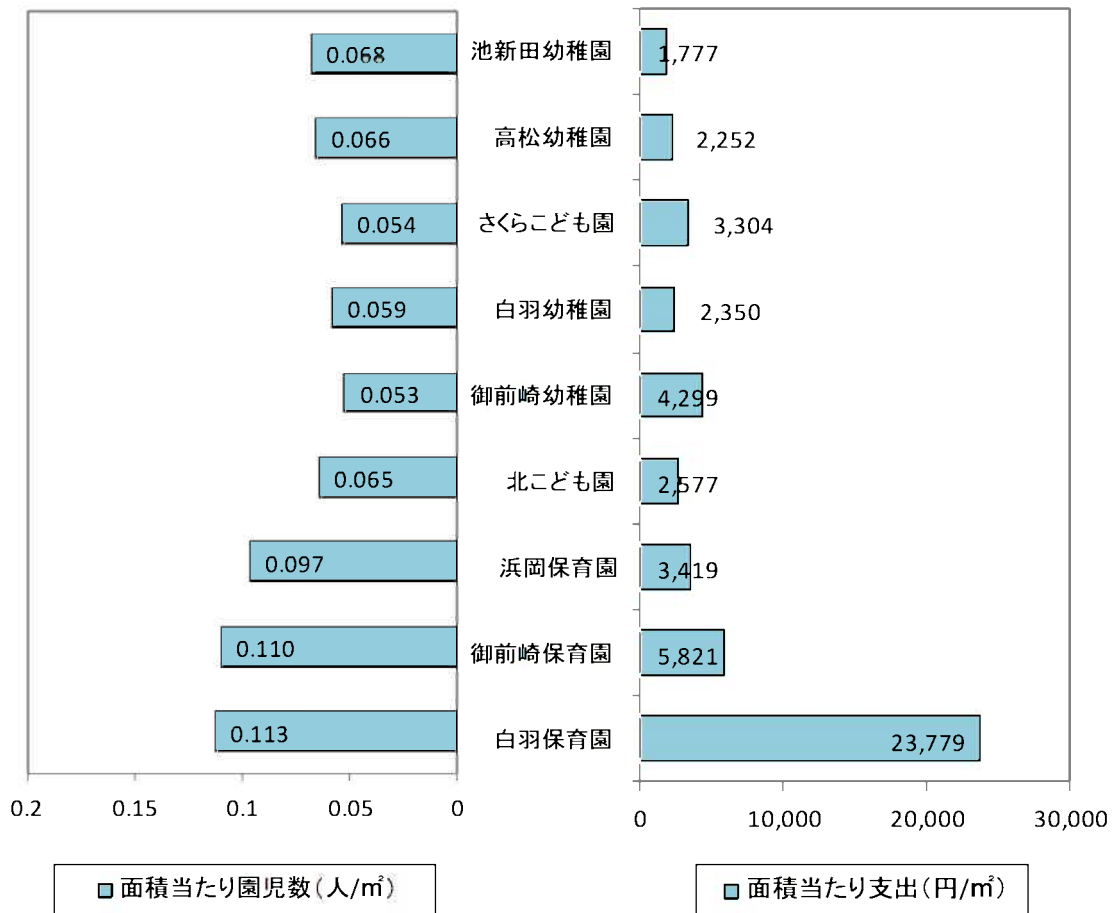
| | | | | | |
|---|-----------------|--------|--------------------|--------------------|-------------|
| 6 | 幼稚園・保育園 こども園 | 北こども園 | 5,634 (+2,085) | 2,992 (△7,185) | 69 (△12) |
| 7 | 〃 | 浜岡保育園 | 24,280 (△1,733) | 4,038 (△8,295) | 98 (△22) |
| 8 | 〃 | 御前崎保育園 | 17,680 (+4,313) | 4,336 (△19,516) | 31 (△28) |
| 9 | 〃 | 白羽保育園 | 21,689 (△875) | 19,617 (+7,633) | 92 (△7) |

※1 H25年度 池新田幼稚園において屋根防水改修工事を実施

| | 分類 | 施設名 | 平成26年度 | | 児童数 利用人数 | 開館日数 |
|---|---------|-------------|-----------------|--------------------|--------------------|-------------|
| | | | 収入(千円) | 支出(千円) | | |
| 1 | 幼児・児童施設 | 新野こどもの里 | 1,993 (+152) | 5,725 (△193) | 8,170 (+1,060) | 249 (△6) |
| 2 | 〃 | 御小放課後児童クラブ | 1,984 (+405) | 4,580 (+625) | 258 (+41) | 251 (△1) |
| 3 | 〃 | 第一小放課後児童クラブ | 4,120 (+982) | 3,904 (△45) | 549 (+130) | 251 (△1) |
| 4 | 〃 | 児童館 | 0 (-) | 14,490 (+1,468) | 15,217 (△5,194) | 247 (△1) |

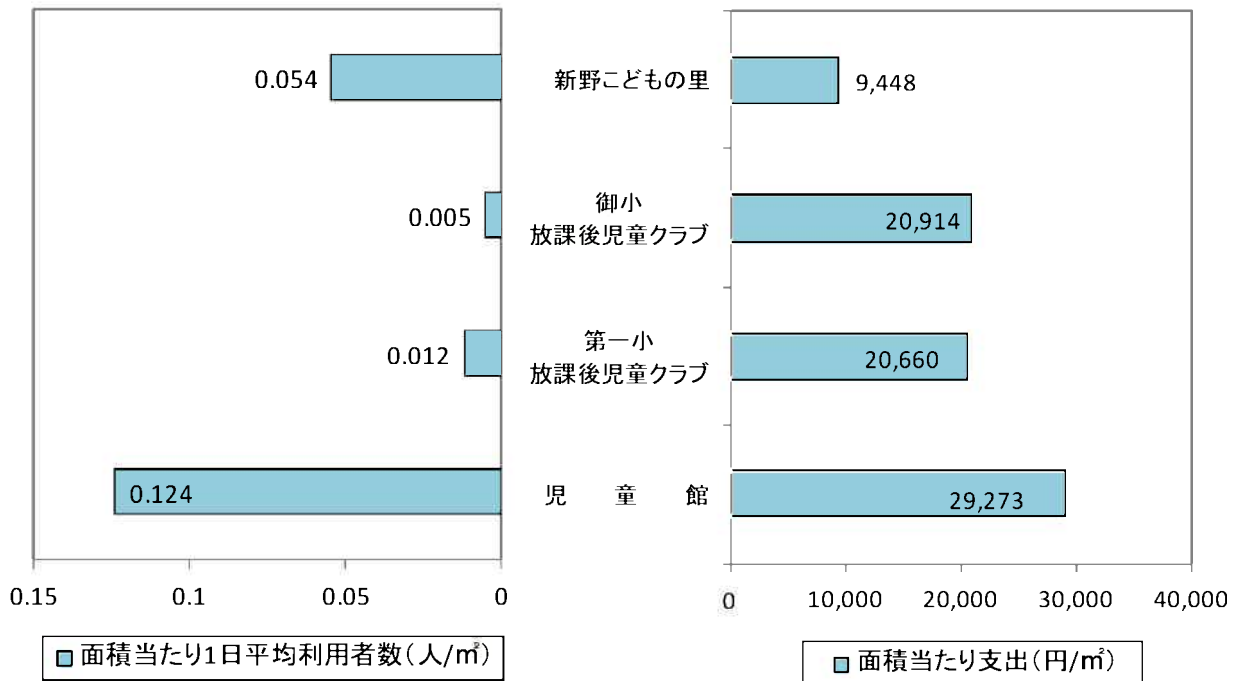
③利用状況等に関するグラフ

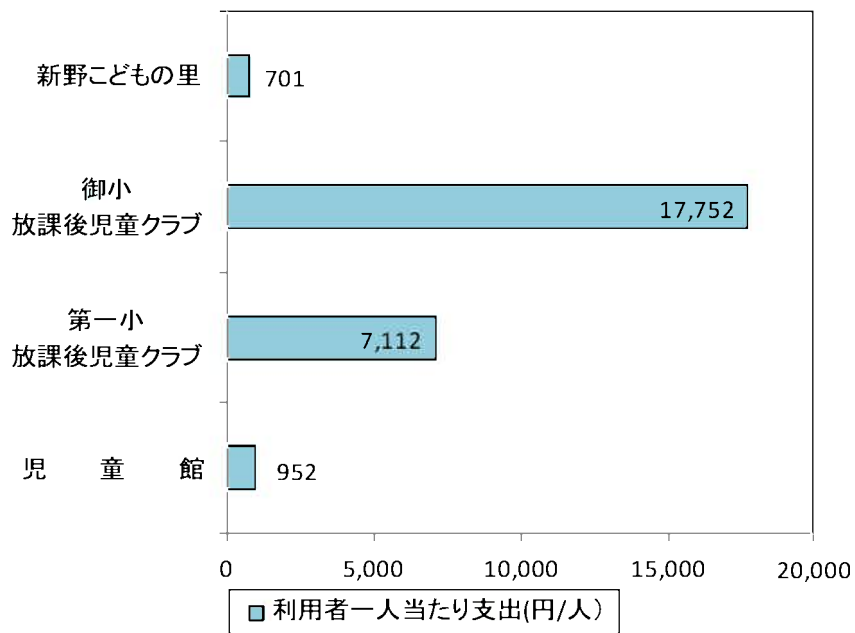
《幼稚園・保育園・こども園》





《 幼児・児童施設 》





子育て支援施設の支出に対する
市民一人当たりの負担額は

2,517円です。



池新田幼稚園



高松幼稚園



さくらこども園



白羽幼稚園



御前崎幼稚園



北こども園



浜岡保育園



御前崎保育園



白羽保育園



新野こどもの里



御小放課後児童クラブ



第一小放課後児童クラブ



児童館

第6節 福祉・保健施設

(1) 配置状況

高齢者福祉施設は2施設、建物数は2棟、延床面積は1,640㎡あります。保健施設は2施設を保有し、建物数は2棟、延床面積は7,653㎡あります。障がい福祉施設は2施設を保有し、建物数は2棟、延床面積は445㎡あります。その他社会福祉施設は2施設を保有し、建物数は7棟、延床面積は2,827㎡あります。



○施設一覧

| | 分類 | 施設名称 | 延床面積 (㎡) | 建築年 | 棟数 |
|---|---------|----------------|-------------|------------------|----|
| 1 | 高齢者福祉施設 | Ⓜ池新田デイサービスセンター | 823 | 平成5年 (1993年) | 1 |
| 2 | 〃 | Ⓜ佐倉デイサービスセンター | 817 | 平成12年 (2000年) | 1 |
| 3 | 保健施設 | 総合保健福祉センター | 6,769 | 平成12年 (2000年) | 1 |
| 4 | 〃 | 浜岡健康センター | 884 | 昭和61年 (1986年) | 1 |
| 5 | 障がい福祉施設 | Ⓜ御前崎つばき作業所 | 208 | 平成21年 (2009年) | 1 |

| | | | | | |
|---|-----------|--------------------------------|-------|------------------|---|
| 6 | 障がい福祉施設 | 障がい児放課後児童クラブ 日中活動支援施設御前崎作業所 | 237 | 昭和58年 (1983年) | 1 |
| 7 | その他社会福祉施設 | Ⓢ浜岡老人福祉センター | 1,312 | 昭和57年 (1982年) | 6 |
| 8 | 〃 | Ⓢ御前崎ふれあい福祉センター | 1,515 | 平成14年 (2002年) | 1 |

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

その他社会福祉施設では1棟が、建築後30年以上となっています。

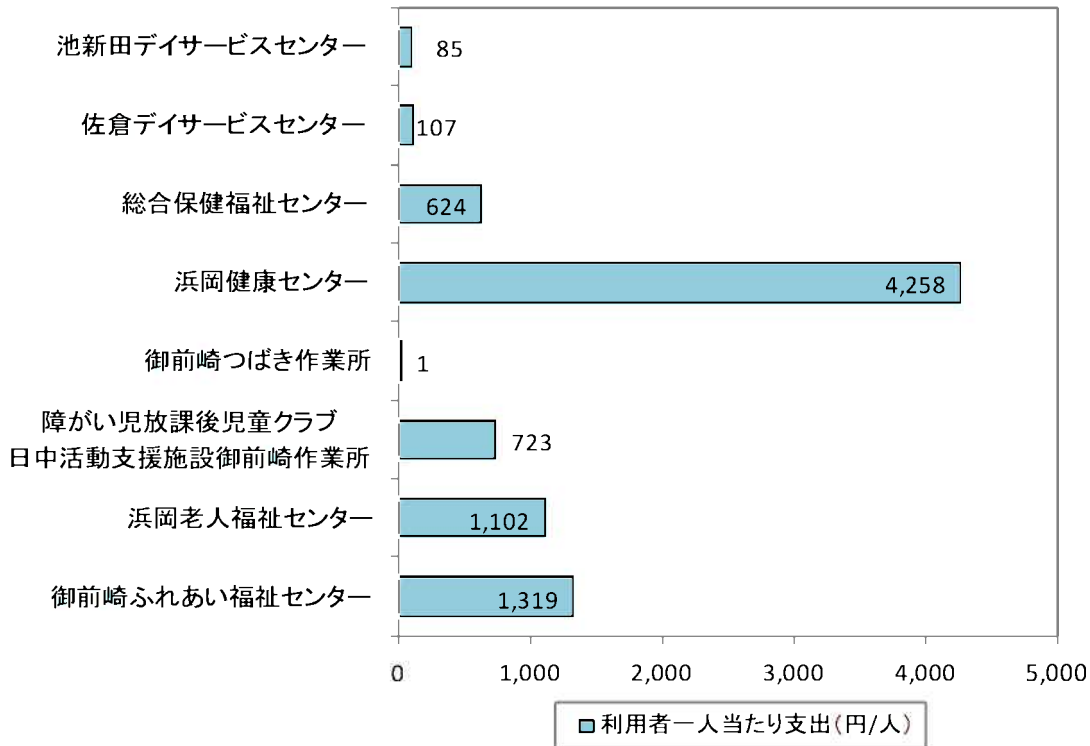
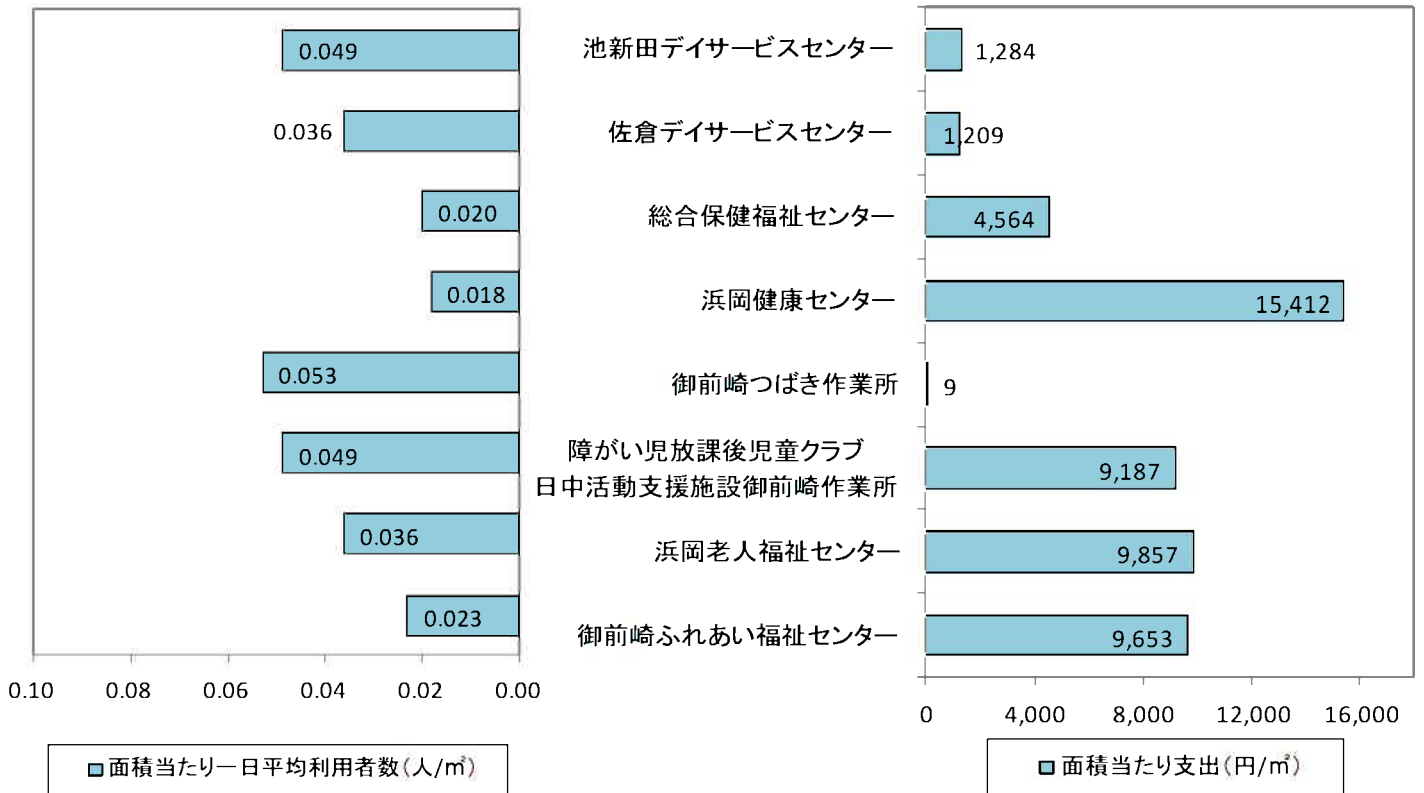
○築年数30年以上の建物一覧

| 施設名称 | 建物名称 | 建築年 | 経過年数 | 延面積（㎡） |
|-------------|------------|------------------|------|--------|
| Ⓢ浜岡老人福祉センター | 浜岡老人福祉センター | 昭和57年 (1982年) | 32年 | 992 |

②管理運営経費※（）内は前年比

| | 施設名称 | 平成26年度 | | 年間利用人数 |
|---|--------------------------------|-------------------|---------------------|----------------------------|
| | | 収入（千円） （増減） | 支出（千円） （増減） | 開館日数 |
| 1 | Ⓢ池新田デイサービスセンター | 7,929 (+7,929) | 1,057 (△199) | 12,417 (459) 310 (-) |
| 2 | Ⓢ佐倉デイサービスセンター | 5,827 (+5,827) | 987 (△269) | 9,200 (158) 310 (-) |
| 3 | 総合保健福祉センター | 0 (-) | 30,894 (△16,858) | 49,549 (25,031) 365 (-) |
| 4 | 浜岡健康センター | 0 | 13,624 (+6,983) | 3,200 (△100) 200 (△50) |
| 5 | Ⓢ御前崎つばき作業所 | 0 (-) | 1 (-) | 2,915 (△412) 265 (△2) |
| 6 | 障がい児放課後児童クラブ 日中活動支援施設御前崎作業所 | 240 (240) | 2,177 (+1,492) | 3,011 (△870) 261 (△13) |
| 7 | Ⓢ浜岡老人福祉センター | 6 (△1) | 12,932 (+467) | 11,737 (△885) 247 (±0) |
| 8 | Ⓢ御前崎ふれあい福祉センター | 0 (-) | 14,625 (+4,764) | 11,088 (3,884) 317 (±0) |

③利用状況等に関するグラフ



福祉・保健施設の支出に対する
市民一人当たりの負担額は

2,255円です。





池新田デイサービスセンター



佐倉デイサービスセンター



総合保健福祉センター



浜岡健康センター



障がい児放課後児童クラブ
日中活動支援施設 御前崎作業所



御前崎つばき作業場



御前崎ふれあい福祉センター



浜岡老人福祉センター

第7節 行政系施設

(1) 配置状況

庁舎等は、市役所本庁舎、教育会館の2施設を保有し、建物数は5棟、延床面積は10,286㎡あります。
 消防系施設は、26施設を保有し、建物数は31棟、延床面積は5,133㎡あります。



○施設一覽
(行政系施設)

| | 分類 | 施設名称 | 延床面積 (㎡) | 建築年 | 棟数 |
|---|-----|------------|----------|------------------|----|
| 1 | 庁舎等 | 御前崎市役所 | 6,865 | 昭和56年 (1981年) | 3 |
| 2 | 〃 | 御前崎支所・教育会館 | 3,421 | 昭和59年 (1984年) | 2 |

(消防系施設)

| | 分類 | 施設名称 | 延床面積 (㎡) | 建築年 | 棟数 |
|----|-------|-------------------------|----------|------------------|----|
| 1 | 消防施設 | 御前崎市消防庁舎 | 2,416 | 平成4年 (1992年) | 5 |
| 2 | 消防団詰所 | 第1分団第2部詰所 | 86 | 平成16年 (2004年) | 1 |
| 3 | 〃 | 第1分団第3部詰所 | 75 | 平成11年 (1999年) | 1 |
| 4 | 〃 | 第2分団詰所 | 120 | 平成9年 (1997年) | 1 |
| 5 | 〃 | 第3分団詰所 | 122 | 平成14年 (2002年) | 1 |
| 6 | 〃 | 第4分団詰所 | 122 | 平成16年 (2004年) | 1 |
| 7 | 〃 | 第5分団詰所 | 120 | 平成8年 (1996年) | 1 |
| 8 | 〃 | 第6分団詰所 | 122 | 平成11年 (1999年) | 1 |
| 9 | 〃 | 第7分団詰所 | 117 | 平成5年 (1993年) | 1 |
| 10 | 〃 | 第8分団詰所 | 185 | 平成18年 (2006年) | 1 |
| 11 | 〃 | 第9分団詰所 | 185 | 平成22年 (2010年) | 1 |
| 12 | 〃 | 第10分団詰所※新規 | 168 | 平成26年 (2014年) | 1 |
| 13 | 〃 | 第11分団詰所※新規 | 168 | 平成26年 (2014年) | 1 |
| 14 | 防災倉庫 | 防災課倉庫① (旧第10分団第1部詰所) | 71 | 平成8年 (1996年) | 1 |
| 15 | 〃 | 防災課倉庫② (旧第10分団第2部詰所) | 71 | 平成5年 (1993年) | 1 |

| | | | | | |
|----|------|-------------------------|-----|------------------|---|
| 16 | 防災倉庫 | 防災課倉庫③ (旧第10分団第3部詰所) | 56 | 平成2年 (1990年) | 1 |
| 17 | " | 防災課倉庫④ (旧第11分団第1部詰所) | 56 | 平成2年 (1990年) | 1 |
| 18 | " | 防災課倉庫⑤ (旧第11分団第2部詰所) | 71 | 平成8年 (1996年) | 1 |
| 19 | " | 防災課倉庫⑥ (旧第11分団第3部詰所) | 56 | 平成2年 (1990年) | 1 |
| 20 | " | 新神子区防災倉庫 | 49 | 平成2年 (1990年) | 2 |
| 21 | " | 白浜区防災倉庫 | 71 | 平成5年 (1993年) | 1 |
| 22 | " | 白羽区防災倉庫 | 111 | 昭和57年 (1982年) | 1 |
| 23 | " | 中原区防災倉庫 | 71 | 平成13年 (2001年) | 1 |
| 24 | " | 新谷区防災倉庫 | 71 | 平成8年 (1996年) | 1 |
| 25 | " | 朝比奈原防災倉庫 | 100 | 平成8年 (1996年) | 1 |
| 26 | " | 御前崎防災倉庫 | 273 | 平成16年 (2004年) | 1 |

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質（建築から30年以上経過した建物（棟）

庁舎等では、市役所庁舎の2棟、教育会館の2棟、白羽区防災倉庫が建築後30年以上となっています。

○築年数30年以上の建物一覧（行政系施設）

| 施設名称 | 建物名称 | 建築年 | 経過年数 | 延床面積（㎡） |
|--------|---------------|------------------|------|---------|
| 御前崎市役所 | 庁舎 | 昭和56年 (1981年) | 33年 | 6,511 |
| | 市長車等車庫兼東自転車置場 | 昭和56年 (1981年) | 33年 | 273 |
| 教育会館 | 庁舎 | 昭和59年 (1984年) | 30年 | 3,386 |
| | 浄化槽施設（ブロー室） | 昭和59年 (1984年) | 30年 | 35 |

○築年数30年以上の建物一覧（消防系施設）

| 施設名称 | 建物名称 | 建築年 | 経過年数 | 延床面積（㎡） |
|-------------|---------|------------------|------|---------|
| 白羽区 防災倉庫 | 白羽区防災倉庫 | 昭和57年 (1982年) | 32年 | 111 |

②管理運営経費

○管理運営経費の状況（行政系施設）※（）内は前年比

| | 分類 | 施設名称 | 平成26年度 | |
|---|-----|------------|----------------|---------------------|
| | | | 収入（千円） （増減） | 支出（千円） （増減） |
| 1 | 庁舎等 | 御前崎市役所 | 647 (275) | 39,359 (△71,790) |
| 2 | 〃 | 御前崎支所・教育会館 | 36 (△113) | 22,507 (△1,049) |

○管理運営経費の状況（消防系施設） ※（）内は前年比

| | 分類 | 施設名 | 平成 26 年度 | |
|----|-----------|-----------|----------------|--------------------|
| | | | 収入（千円） （増減） | 支出（千円） （増減） |
| 1 | 消防施設 | 御前崎市消防庁舎 | 60 (60) | 10,780 (+3,283) |
| 2 | 消防団 詰所 | 第1分団第2部詰所 | 0 (-) | 897 (+547) |
| 3 | 〃 | 第1分団第3部詰所 | 0 (-) | 265 (+171) |
| 4 | 〃 | 第2分団詰所 | 0 (-) | 607 (+143) |
| 5 | 〃 | 第3分団詰所 | 0 (-) | 249 (+145) |
| 6 | 〃 | 第4分団詰所 | 0 (-) | 456 (△68) |
| 7 | 〃 | 第5分団詰所 | 0 (-) | 509 (+156) |
| 8 | 〃 | 第6分団詰所 | 0 (-) | 575 (+149) |
| 9 | 〃 | 第7分団詰所 | 0 (-) | 539 (+71) |
| 10 | 〃 | 第8分団詰所 | 0 (-) | 655 (+157) |
| 11 | 〃 | 第9分団詰所 | 0 (-) | 860 (+210) |
| 12 | 〃 | 10分団詰所※新規 | 0 | 42,198 |

| | | | | |
|----|-----------|-------------------------|----------|-------------------|
| 13 | 消防団 詰所 | 1 1 分団詰所※新規 | 0 | 40,982 |
| 14 | 防災倉庫 | 防災課倉庫① (旧第10分団第1部詰所) | 0 (-) | 287 (+224) |
| 15 | " | 防災課倉庫② (旧第10分団第2部詰所) | 0 (-) | 299 (+187) |
| 16 | " | 防災課倉庫③ (旧第10分団第3部詰所) | 0 (-) | 657 (+562) |
| 17 | " | 防災課倉庫④ (旧第11分団第1部詰所) | 0 (-) | 276 (+191) |
| 18 | " | 防災課倉庫⑤ (旧第11分団第2部詰所) | 0 (-) | 314 (+195) |
| 19 | " | 防災課倉庫⑥ (旧第11分団第3部詰所) | 0 (-) | 275 (+192) |
| 20 | " | 新神子区防災倉庫 | 0 (-) | 1 (△34) |
| 21 | " | 白浜区防災倉庫 | 0 (-) | 1 (△33) |
| 22 | " | 白羽区防災倉庫 | 0 (-) | 1 (△68) |
| 23 | " | 中原区防災倉庫 | 0 (-) | 1 (△54) |
| 24 | " | 新谷区防災倉庫 | 0 (-) | 1 (△75) |
| 25 | " | 朝比奈原防災倉庫 | 0 (-) | 7,146 (△7,112) |
| 26 | " | 御前崎防災倉庫 | 0 (-) | 7,148 (△7,113) |

行政系施設の支出に対する
市民一人当たりの負担額は

5,256円です。





御前崎市役所



御前崎支所・教育会館



御前崎市消防庁舎



第1分団第2部詰所



第1分団第3部詰所



第2分団詰所



第3分団詰所



第4分団詰所



第5分団詰所



第6分団詰所



第7分団詰所



第8分団詰所



第9分団詰所



第10分団詰所



防災課倉庫①



防災課倉庫②



第11分団詰所



防災課倉庫④



防災課倉庫⑤



防災倉庫課③



防災倉庫⑥



新神子区防災倉庫



白浜区防災倉庫



白羽区防災倉庫



中原区防災倉庫



新谷区防災倉庫



朝比奈原防災倉庫



御前崎防災倉庫

第8節 公営住宅

(1) 配置状況

公営住宅は10施設、建物数は33棟、延床面積は21,389㎡あります。



○施設一覧

| | 分類 | 施設名称 | 延床面積 (㎡) | 建築年 | 棟数 |
|---|------|---------|----------|------------------|----|
| 1 | 公営住宅 | 中町団地 | 353 | 平成8年 (1996年) | 3 |
| 2 | " | 池新田大山団地 | 3,344 | 平成15年 (2003年) | 4 |
| 3 | " | 八千代団地 | 5,401 | 平成4年 (1992年) | 7 |
| 4 | " | 塩原団地 | 266 | 平成6年 (1994年) | 2 |
| 5 | " | 朝比奈団地 | 2,335 | 平成11年 (1999年) | 5 |
| 6 | " | 新野団地 | 1,771 | 平成8年 (1996年) | 4 |
| 7 | " | みさき住宅 | 1,287 | 平成2年 (1990年) | 1 |
| 8 | " | 広沢住宅 | 1,045 | 昭和54年 (1979年) | 1 |

| | | | | | |
|----|------|------|-------|------------------|---|
| 9 | 公営住宅 | 白羽住宅 | 1,928 | 平成6年 (1994年) | 2 |
| 10 | 〃 | 薄原住宅 | 3,659 | 昭和58年 (1983年) | 4 |

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

公営住宅では4棟が、建築後30年以上となっています。

○築年数30年以上の建物一覧

| 施設名称 | 建物名称 | 建築年 | 経過年数 | 延床面積 (㎡) |
|------|------------|---------------------|------|----------|
| 薄原住宅 | 薄原住宅 1 | 昭和 58 年 (1983 年) | 31年 | 753 |
| 薄原住宅 | 薄原住宅 2 | 昭和 57 年 (1982 年) | 32年 | 1,506 |
| 薄原住宅 | 集会室・污水处理施設 | 昭和 57 年 (1982 年) | 32年 | 70 |
| 広沢住宅 | 広沢住宅 | 昭和 54 年 (1979 年) | 35年 | 1,045 |

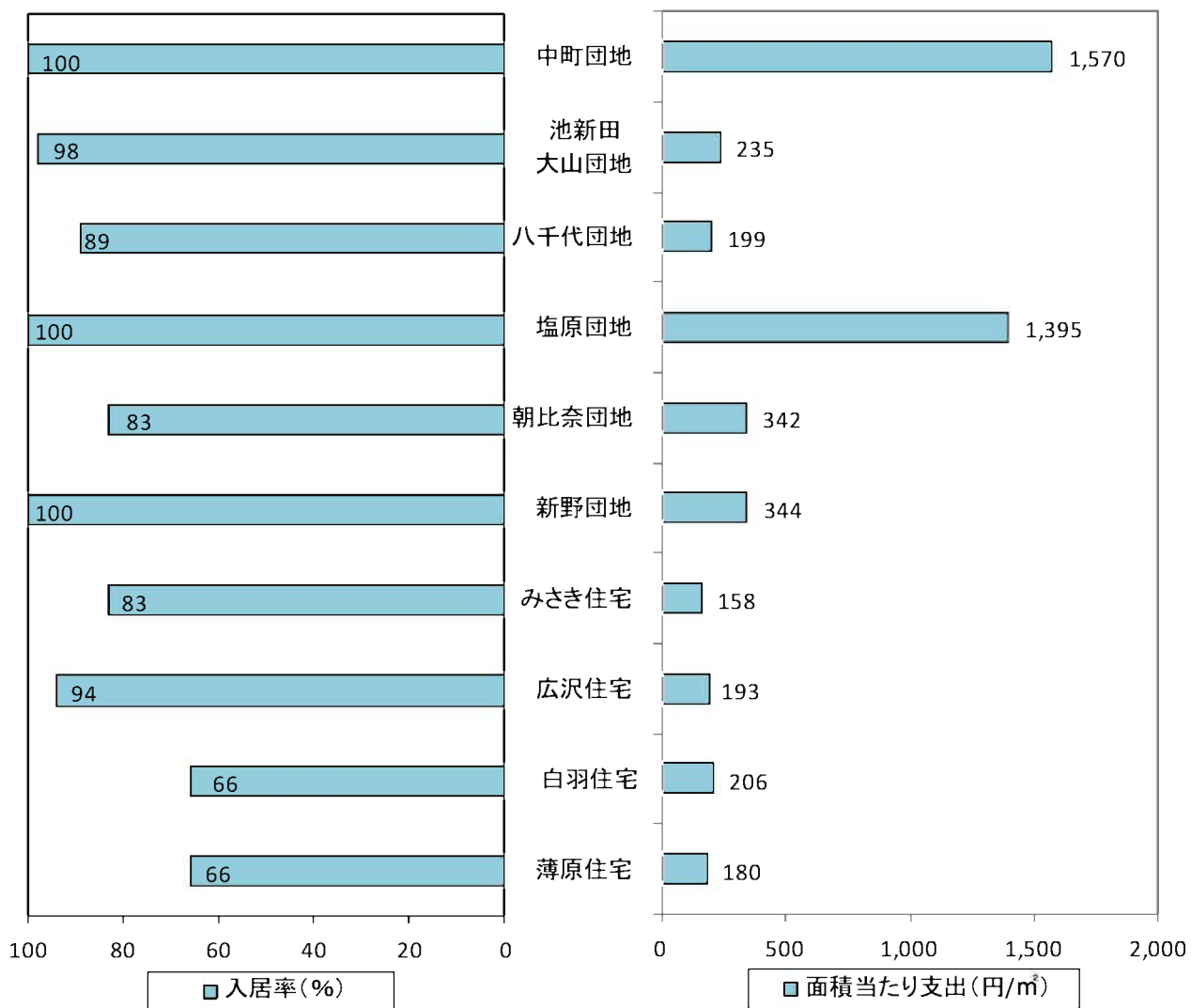
②管理運営経費 ※（）内は前年比

| | 施設名 | 平成 26 年度 | | 入居率 (%) |
|---|---------|--------------------|-------------------|--------------|
| | | 収入 (千円) (増減) | 支出 (千円) (増減) | |
| 1 | 中町団地 | 1,982 (+596) | 554 (△83) | 100 (-) |
| 2 | 池新田大山団地 | 14,858 (+1,105) | 784 (△1,640) | 97 (△3%) |
| 3 | 八千代団地 | 15,115 (△1,009) | 1,076 (△4,087) | 88 (△8%) |
| 4 | 塩原団地 | 1,128 (+153) | 371 (△615) | 100 (-) |
| 5 | 朝比奈団地 | 9,773 (△331) | 797 (△2,579) | 83 (+16%) |
| 6 | 新野団地 | 6,154 (△1,115) | 609 (△1,083) | 100 (-) |
| 7 | みさき住宅 | 4,171 (+90) | 203 (△4,369) | 83 (△17%) |
| 8 | 広沢住宅※ | 3,452 (△57) | 201 (△45,337) | 94 (+6%) |
| 9 | 白羽住宅 | 6,794 (△313) | 396 (△2,697) | 66 (△26%) |

| | | | | |
|----|------|----------------|-----------------|--------------|
| 10 | 薄原住宅 | 8,772 (+61) | 656 (△9,318) | 54 (△11%) |
|----|------|----------------|-----------------|--------------|

※広沢住宅・・・H25北棟給排水設備工事（33,712千円）含む

③利用状況等に関するグラフ



公営住宅の支出に対する
市民一人当たりの負担額は

166円です。





中町団地



池新田大山団地



八千代団地



塩原団地



朝比奈団地



新野団地



みさき住宅



広沢住宅



白羽住宅



薄原住宅



第9節 公園

(1) 配置状況

公園は23施設、建物数は44棟、延床面積は1,518㎡あります。



○施設一覧

| | 分類 | 施設名称 | 延床面積 (㎡) | 建築年 | 棟数 |
|---|----|-----------|----------|------------------|----|
| 1 | 公園 | 八千代公園 | 35 | 昭和56年 (1981年) | 1 |
| 2 | 〃 | 長者公園 | 7 | 平成11年 (1996年) | 1 |
| 3 | 〃 | 神子公園 | 14 | 平成12年 (2000年) | 1 |
| 4 | 〃 | 白砂公園 | 119 | 平成13年 (2001年) | 4 |
| 5 | 〃 | 高松緑の森公園 | 111 | 平成10年 (1998年) | 2 |
| 6 | 〃 | 桜ヶ池公園 | 45 | 平成4年 (1992年) | 1 |
| 7 | 〃 | おさ川ふれあい公園 | 93 | 平成16年 (2004年) | 1 |

| | | | | | |
|----|----|------------|-----|------------------|----|
| 8 | 公園 | 比木自然公園 | 21 | 平成7年 (1995年) | 1 |
| 9 | 〃 | 散歩道福田沢 | 8 | 平成25年 (2013) | 1 |
| 10 | 〃 | ㊦あらさわふる里公園 | 727 | 平成12年 (2000年) | 14 |
| 11 | 〃 | 新野水のめぐみ公園 | 15 | 平成21年 (2009年) | 1 |
| 12 | 〃 | おまえざき公園 | 15 | 平成10年 (1998年) | 1 |
| 13 | 〃 | 下岬公園 | 38 | 昭和49年 (1974年) | 1 |
| 14 | 〃 | 公儀山公園 | 26 | 平成13年 (2001年) | 1 |
| 15 | 〃 | 大原公園 | 5 | 平成5年 (1993年) | 1 |
| 16 | 〃 | ケープパーク | 33 | 平成5年 (1993年) | 3 |
| 17 | 〃 | マリナーパーク | 175 | 平成17年 (2005年) | 2 |
| 18 | 〃 | 大山自然公園 | 1 | 平成元年 (1989年) | 1 |
| 19 | 〃 | 石原池公園 | 8 | 平成12年 (2000年) | 1 |
| 20 | 〃 | せせらぎ広場 | 12 | 平成6年 (1994年) | 2 |
| 21 | 〃 | 下比木こども公園 | 2 | 平成6年 (1994年) | 1 |
| 22 | 〃 | けやき広場 | 1 | 平成6年 (1994年) | 1 |
| 23 | 〃 | きぶね公園 | 7 | 平成7年 (1995年) | 1 |

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

公園では2棟が、建築後30年以上となっています。

○築年数30年以上の建物一覧

| 施設名称 | 建物名称 | 建築年 | 経過年数 | 延床面積 (㎡) |
|-------|------|---------------------|------|----------|
| 八千代公園 | トイレ | 昭和 56 年 (1981 年) | 33年 | 35 |
| 下岬公園 | トイレ | 昭和 49 年 (1974 年) | 40年 | 38 |

②管理運営経費 ※（）内は前年比

| | 分類 | 施設名 | 平成 26 年度 | |
|----|----|------------|----------------|--------------------|
| | | | 収入（千円） （増減） | 支出（千円） （増減） |
| 1 | 公園 | 八千代公園 | 0 (-) | 6,386 (+1,348) |
| 2 | " | 長者公園 | 0 (-) | 772 (△32) |
| 3 | " | 神子公園 | 0 (-) | 1,393 (+164) |
| 4 | " | 白砂公園 | 0 (-) | 8,987 (+3,081) |
| 5 | " | 高松緑の森公園 | 144 (-) | 14,643 (+607) |
| 6 | " | 桜ヶ池公園 | 0 (-) | 1,436 (△1,997) |
| 7 | " | おさ川ふれあい公園 | 36 (-) | 2,941 (△492) |
| 8 | " | 比木自然公園 | 0 (-) | 215 (△339) |
| 9 | " | 散歩道福田沢 | 0 (-) | 443 (+443) |
| 10 | " | ㊦あらさわふる里公園 | 625 (+625) | 34,227 (+5,428) |
| 11 | " | 新野水のめぐみ公園 | 0 (-) | 1,314 (+433) |
| 12 | " | おまえざき公園 | 0 (-) | 7,367 (+5,501) |
| 13 | " | 下岬公園 | 0 (-) | 368 (△340) |
| 14 | " | 公儀山公園 | 0 (-) | 2,730 (+907) |
| 15 | " | 大原公園 | 0 (-) | 826 (△322) |
| 16 | " | ケーブパーク | 0 (-) | 946 (△171) |
| 17 | " | マリンパーク | 72 (+72) | 0 (△31,746) |
| 18 | " | 大山自然公園 | 0 | 3,239 |

| | | | | |
|----|----|---------|---|-----|
| 19 | 公園 | 石原池公園 | 0 | 466 |
| 20 | 〃 | せせらぎ広場 | 0 | 234 |
| 21 | 〃 | 下比木自然公園 | 0 | 208 |
| 22 | 〃 | けやき広場 | 0 | 312 |
| 23 | 〃 | きぶね公園 | 0 | 208 |

※支出については、建物に限らない公園全体の維持管理に要した費用を記載しています。



公園の支出に対する
市民一人当たりの負担額は

2,652円です。



第10節 その他

(1) 配置状況

その他施設は17施設、建物数は19棟、延床面積は2,131㎡あります。



○施設一覧

| | 分類 | 施設名称 | 延床面積 (㎡) | 建築年 | 棟数 |
|---|-------|--------|----------|------------------|----|
| 1 | 倉庫 | 大山倉庫 | 162 | 平成10年 (1998年) | 1 |
| 2 | 〃 | 高松倉庫 | 200 | 平成元年 (1989年) | 1 |
| 3 | 〃 | 艇庫 | 197 | 平成13年 (2001年) | 1 |
| 4 | 観光駐車場 | 日向子駐車場 | 110 | 平成14年 (2002年) | 2 |
| 5 | 〃 | 元根駐車場 | 14 | 平成9年 (1997年) | 1 |
| 6 | 〃 | 芹沢駐車場 | 56 | 平成15年 (2003年) | 1 |
| 7 | 〃 | 広沢西駐車場 | 29 | 平成11年 (1999年) | 1 |
| 8 | 〃 | 広沢東駐車場 | 25 | 平成6年 (1994年) | 1 |

| | | | | | |
|----|-------|-----------------|-----|------------------|---|
| 9 | 観光駐車場 | 薄原駐車場 | 66 | 平成15年 (2003年) | 1 |
| 10 | 農業施設 | 上水神機場 | 29 | 平成15年 (2003年) | 1 |
| 11 | 〃 | 門屋割機場 | 29 | 平成15年 (2003年) | 1 |
| 12 | 〃 | 桜ヶ池畑かんポンプ 小屋 | 9 | 平成13年 (2001年) | 1 |
| 13 | 〃 | 中比木揚水機場 | 15 | 昭和61年 (1986年) | 1 |
| 14 | 〃 | 下朝比奈機場 | 29 | 平成15年 (2003年) | 1 |
| 15 | 〃 | 御用田機場 | 29 | 平成15年 (2003年) | 1 |
| 16 | その他 | ㊦御前崎CATV | 917 | 平成12年 (2000年) | 2 |
| 17 | 〃 | シルバー人材センター | 215 | 昭和54年 (1979年) | 1 |

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

その他施設ではシルバー人材センター1棟が、建築後30年以上となっています。

○築年数30年以上の建物一覧

| 施設名称 | 建物名称 | 建築年 | 経過年数 | 延床面積(m ²) |
|------------|------------|------------------|------|-----------------------|
| シルバー人材センター | シルバー人材センター | 昭和54年 (1979年) | 35年 | 215 |

②管理運営経費 ※（）内は前年比

| | 分類 | 施設名 | 平成26年度 | |
|---|-------|--------|----------------|-------------------|
| | | | 収入(千円) (増減) | 支出(千円) (増減) |
| 1 | 倉庫 | 大山倉庫 | 0 (-) | 1 (△7,644) |
| 2 | 〃 | 高松倉庫 | 0 (-) | 0 (△34) |
| 3 | 〃 | 艇庫 | 0 (-) | 1 (+2370) |
| 4 | 観光駐車場 | 日向子駐車場 | 36 (+36) | 2,390 (+1,583) |
| 5 | 〃 | 元根駐車場 | 0 (-) | 409 (△2) |

| | | | | |
|----|-------|-----------------|-------------|---------------------|
| 6 | 観光駐車場 | 芹沢駐車場 | 36 (+36) | 2,126 (+1,164) |
| 7 | " | 広沢西駐車場 | 0 (-) | 709 (2) |
| 8 | " | 広沢東駐車場 | 24 (+24) | 1,314 (+1,143) |
| 9 | " | 薄原駐車場 | 36 (+36) | 1,720 (+1,547) |
| 10 | 農業施設 | 上水神機場 | 0 (-) | 0 (△1,090) |
| 11 | " | 門屋割機場 | 0 (-) | 0 (△1,045) |
| 12 | " | 桜ヶ池畑かんポンプ 小屋 | 0 (-) | 0 (△554) |
| 13 | " | 中比木揚水機場 | 0 (-) | 0 (△2,218) |
| 14 | " | 下朝比奈機場 | 0 (-) | 0 (△732) |
| 15 | " | 御用田機場 | 0 (-) | 0 (△810) |
| 16 | その他 | ㊦御前崎CATV | 0 (-) | 37,188 (△7,700) |
| 17 | " | シルバー人材センター | 0 (-) | 10,712 (+10,712) |

その他施設の支出に対する
市民一人当たりの負担額は

1,671円です。



第11節 上水道施設

(1) 配置状況

上水道施設は6施設、建物数は16棟、延床面積は788㎡あります。



○施設一覧

| | 分類 | 施設名称 | 延床面積 (㎡) | 建築年 | 棟数 |
|---|-----|--------|----------|------------------|----|
| 1 | 浄水場 | 佐倉浄水場 | 439 | 昭和39年 (1964年) | 8 |
| 2 | 配水池 | 大兼配水池 | 20 | 昭和60年 (1985年) | 1 |
| 3 | 〃 | 朝比奈配水池 | 51 | 昭和59年 (1984年) | 2 |
| 4 | 〃 | 御前崎配水池 | 130 | 昭和44年 (1969年) | 3 |
| 5 | 〃 | 新野配水池 | 83 | 平成16年 (2004年) | 1 |
| 6 | 〃 | 高松配水池 | 65 | 平成17年 (2005年) | 1 |

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

上水道系施設では12棟が、建築後30年以上となっています。

○築年数30年以上の建物一覧

| 施設名称 | 建物名称 | 建築年 | 経過年数 | 延床面積（㎡） |
|--------|--------------|---------------------|------|---------|
| 佐倉浄水場 | 管理棟北側 | 昭和 39 年 (1964 年) | 50年 | 73 |
| | 電気室等 | 昭和 39 年 (1964 年) | 50年 | 156 |
| | 滅菌室等(朝水ポンプ室) | 昭和 42 年 (1967 年) | 47年 | 64 |
| | 第 2 水源井戸 | 昭和 46 年 (1971 年) | 43年 | 12 |
| | 塩素ポンベ室 | 昭和 55 年 (1980 年) | 34年 | 6 |
| | 簿内倉庫 | 昭和 57 年 (1982 年) | 32年 | 52 |
| | 事務所 | 昭和 59 年 (1984 年) | 30年 | 19 |
| 御前崎配水池 | 滅菌室 | 昭和 44 年 (1969 年) | 45年 | 19 |
| | ポンプ室 | 昭和 44 年 (1969 年) | 45年 | 55 |
| | 倉庫 | 昭和 46 年 (1971 年) | 43年 | 56 |
| 朝比奈配水池 | 発電室 | 昭和 59 年 (1984 年) | 30年 | 33 |
| | ポンプ室 | 昭和 59 年 (1984 年) | 30年 | 18 |

②管理運営経費 ※（）内は前年比

| 施設名 | 区 分 | 平成 26 年度 | |
|---------------|-------|-------------------------|------------------------|
| | | 収入（千円） （増減） | 支出（千円） （増減） |
| 配水場 他 5 施設 | 収益的収支 | 1,036,438 (+101,764) | 1,020,622 (+91,495) |
| | 資本的収支 | 76,663 (+8,118) | 349,915 (+5,920) |

※管理運営経費は年度の水道事業会計決算額（公営企業会計）です。

（消費税込）

第12節 下水道施設

(1) 配置状況

下水道施設は8施設、建物数は15棟、延床面積は4,446㎡あります。



○施設一覧

| | 分類 | 施設名称 | 延床面積 (㎡) | 建築年 | 棟数 |
|---|-------|--------------|----------|------------------|----|
| 1 | 下水道施設 | 池新田浄化センター | 1,728 | 平成6年 (1994年) | 6 |
| 2 | 〃 | 高松浄化センター | 922 | 平成9年 (1997年) | 3 |
| 3 | 〃 | 佐倉地区集排処理施設 | 118 | 平成元年 (1989年) | 1 |
| 4 | 〃 | 忍沢地区集排処理施設 | 425 | 平成3年 (1991年) | 1 |
| 5 | 〃 | 比木地区集排処理施設 | 351 | 平成15年 (2003年) | 1 |
| 6 | 〃 | 上朝比奈地区集排処理施設 | 352 | 平成10年 (1998年) | 1 |
| 7 | 〃 | 下朝比奈地区集排処理施設 | 192 | 平成4年 (1992年) | 1 |
| 8 | 〃 | 新野地区集排処理施設 | 358 | 平成17年 (2005年) | 1 |

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

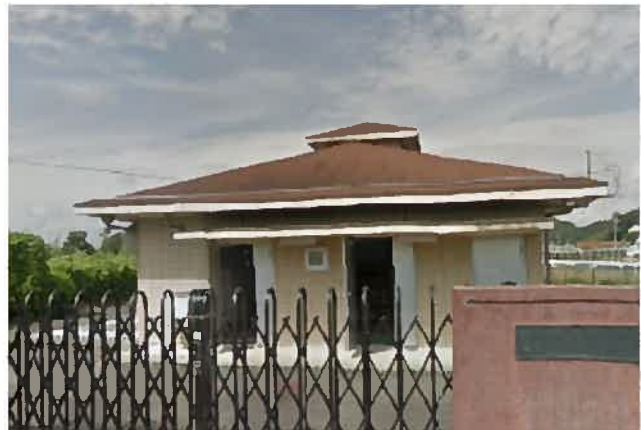
①品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

築30年以上経過した建物はありません。

②管理運営経費 ※（）内は前年比

| 施設名 | 平成 26 年度 | |
|------------|----------------------|----------------------|
| | 収入（千円） （増減） | 支出（千円） （増減） |
| 浄化センター他7施設 | 998,031 (+62,787) | 977,065 (+53,445) |

※管理運営経費は年度の下水道・農業集落排水事業会計決算額です。



第13節 医療施設

(1) 配置状況

医療施設は13施設、建物数は18棟、延床面積は20,351㎡あります。



○施設一覧

| | 分類 | 施設名称 | 延床面積 (㎡) | 建築年 | 棟数 |
|---|------|----------|----------|------------------|----|
| 1 | 医療施設 | 病棟 | 17,414 | 昭和61年 (1986年) | 6 |
| 2 | 〃 | 医師マンション | 583 | 昭和61年 (1986年) | 1 |
| 3 | 〃 | 看護宿舎 | 1,324 | 昭和61年 (1986年) | 1 |
| 4 | 〃 | 職員住宅 B-1 | 98 | 昭和61年 (1986年) | 1 |
| 5 | 〃 | 職員住宅 B-2 | 98 | 昭和61年 (1986年) | 1 |
| 6 | 〃 | 職員住宅 B-3 | 98 | 昭和61年 (1986年) | 1 |
| 7 | 〃 | 職員住宅 B-4 | 98 | 昭和61年 (1986年) | 1 |

| | | | | | |
|----|------|----------|-----|------------------|---|
| 8 | 医療施設 | 職員住宅 C-1 | 98 | 昭和61年 (1986年) | 1 |
| 9 | 〃 | 職員住宅 C-2 | 98 | 昭和61年 (1986年) | 1 |
| 10 | 〃 | 職員住宅 C-3 | 98 | 昭和61年 (1986年) | 1 |
| 11 | 〃 | 職員住宅 C-4 | 98 | 昭和61年 (1986年) | 1 |
| 12 | 〃 | 職員住宅 E-1 | 123 | 昭和62年 (1987年) | 1 |
| 13 | 〃 | 職員住宅 E-2 | 123 | 昭和62年 (1987年) | 1 |

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

①品質（建築から30年以上経過した建物（棟））

築30年以上経過した建物はありません。

②管理運営経費 ※（）内は前年比

| 施設名 | 区分 | 平成 26 年度 | |
|---------------|-------|------------------------|-------------------------|
| | | 収入（千円） （増減） | 支出（千円） （増減） |
| 病棟 他 12 施設 | 収益的収支 | 4,301,631 (△51,195) | 4,825,944 (+288,494) |
| | 資本的収支 | 215,700 (+109,402) | 520,734 (+209,000) |

※管理運営経費は年度の病院事業会計決算額（公営企業会計）です。

（消費税込）



病棟



医師マンション



看護宿舎

第5章 公共施設マネジメントの必要性と今後の取組について

第1節 公共施設マネジメントの必要性

本市では、整備してきた公共施設について、今後老朽化が進み、その多くが大規模修繕や建替え時期を迎えるなど、公共施設に関する大きな財政投資が求められています。

また、施設により利用者負担額や、市民1人当たりの負担額にばらつきがあります。

その一方で、施設の老朽化による利便性や快適性の低下や人口減少、年齢構成の変動などの影響から、利用者の減少が予想されます。

このようなことから、公共施設の需給のミスマッチや、フルセット主義からの決別が課題となっており、民間活力の活用を含め、公共施設をより戦略的な観点からマネジメントすることが一層必要となってきました。

■支出に対する市民1人当たりの負担額（分類別一覧）

| 分 類 | 市民1人当たり負担額 | | |
|------------------|------------|----------|----------|
| | H25 | H26 | 前年比 |
| 市民文化系施設 | 5,767 円 | 6,877 円 | +1,110 |
| 社会教育系施設 | 2,155 円 | 2,608 円 | +453 |
| 学校教育系施設 | 11,501 円 | 11,900 円 | +399 円 |
| スポーツ・レクリエーション系施設 | 7,770 円 | 10,785 円 | +3,015 円 |
| 子育て支援施設 | 3,823 円 | 2,517 円 | -1,306 円 |
| 福祉・保健施設 | 2,532 円 | 2,255 円 | -277 円 |
| 行政系施設 | 4,289 円 | 5,256 円 | +967 円 |
| 公営住宅 | 2,259 円 | 166 円 | -2,093 円 |
| 公園 | 2,928 円 | 2,652 円 | -276 円 |
| その他 | 1,885 円 | 1,671 円 | -214 円 |
| 合 計 | 44,909 円 | 46,687 円 | +1,778 円 |

支出に対する市民一人当たりの負担額は

46,785円です。



第2節 今後の取組について

今回の公共施設白書の作成・公表は、今後、将来の公共施設のあり方について検討していくためのステップ1として位置付けています。まずは、本市の公共施設の現状と将来の改修・更新費用、さらには、将来の人口推計や財政の状況など、市民の皆さんに広く本市の状況を知っていただくことを目的としています。また、公共施設白書は毎年更新していきます。

次のステップ2では、公共施設白書のデータを基に、「将来にわたり真に必要な施設サービスは何か」「最も効果的・効率的な施設運営を行うにはどうすべきか」などについて十分な検討を重ね、個別施設の対応方向を明らかにします。また、平成27年4月には全庁的な公共施設マネジメントの方向性を取りまとめた公共施設マネジメント（方針編）を策定。今後は、マネジメントの推進体制の整備を検討します。

さらに、ステップ3として、エリアごとのまちづくりの基本構想の策定し、市全体の公共施設の再配置計画や長寿命化計画を策定する予定としています。この策定する過程では、有識者や専門家の意見を聞き市民の皆さんと対話をしながら進めます。なお、幅広い議論ができるような方法については、今後検討していきます。

公共施設の再編・再配置は、行財政運営の効率化という観点はもとより、次世代の御前崎市のまちづくりを念頭に置き、負担を先送りすることなく、最適な施設を次世代に引き継いでいくために、市民の皆さんの御理解を得ながら進めていきます。

《今後の進め方（イメージ図）》

